

医療情報閲覧用端末のセットアップ

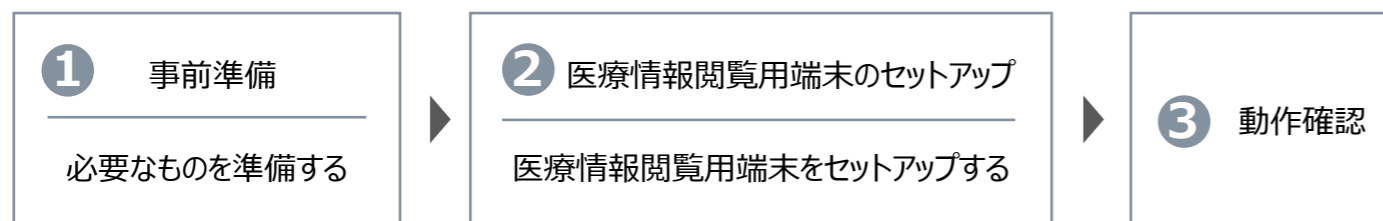
本資料では、医療情報閲覧用端末のセットアップ手順を説明します。

オンライン資格確認時に、各医療情報の閲覧に同意した患者の医療情報を表示する医療情報閲覧用端末をセットアップします。

※本マニュアルは、Windows11で作成しています。

作業の流れ

医療情報閲覧用端末セットアップの作業の流れについて説明します。



事前準備

以下のものが揃っているか、確認してください。



● 医療情報閲覧用端末（パソコン）

医療情報閲覧用端末は、オンライン資格確認等システムを利用するために必要です。動作を確認している環境は、以下のとおりです。

- Windows10 IoT Enterprise 2019 LTSC 64bit版
- Windows10 Enterprise 2019 LTSC 64bit 版
- Windows10 IoT Enterprise 2021 LTSC 64bit版
- Windows10 Enterprise 2021 LTSC 64bit 版
- Windows11 IoT Enterprise 2024 LTSC 64bit版
- Windows11 Enterprise 2024 LTSC 64bit 版

※ WindowsのOSセットアップは完了しておいてください。
※ 本マニュアルは、Windows11で作成しています。

■ Windowsの設定について

- Windows Defenderの設定は有効（既定値）にしてください。
- Windows Updateを実施し、最新状態にしてください。

■ ブラウザーについて

医療情報閲覧用端末で使用するパソコンのブラウザーは、**Microsoft Edge** です。
最新版のMicrosoft Edgeにしてください。

➡ 別紙 **トラブルシューティング 補1**



● 通信回線

通信回線は、オンライン資格確認等システムを利用するために必要です。**資格確認端末**にIP-VPN又はIPsec+IKEにより接続して、オンライン資格確認等システムのサーバーとつなぐために使用します。



● 電子証明書

電子証明書は、各医療機関等で用意してください。

以下のサイトから発行依頼又はダウンロードしたもので、医療情報閲覧用端末のデスクトップにコピーしてください。

・電子証明書発行申請サイト：

<https://cert.obn.managedpki.ne.jp/p/rcr>

・電子証明書の取得サイト：

<https://cert.obn.managedpki.ne.jp/p/rcd>

証明書の発行依頼については、「**オンライン請求ネットワーク関連システム共通認証局電子証明書の発行等申請の手引き**」を、証明書の取得、更新等の手順については、「**オンライン請求ネットワーク関連システム共通認証局ユーザーマニュアル**」を参照してください。



● MPKIクライアントのインストーラー

MPKIクライアントインストーラーは、各医療機関等で用意してください。

電子証明書の有効期限の前に更新をお知らせする機能や証明書の更新を簡易に行うことができます。

・MPKIクライアントのインストーラー取得用サイト：

<https://cert.obn.managedpki.ne.jp/p/s>



● ブラウザー設定ツール

ブラウザ設定ツールは、医療機関等ベンダーより入手し、医療情報閲覧用端末のデスクトップ等にコピーしてください。



● 医療情報閲覧アカウント（補足）

次ページの「操作 患者情報を閲覧できるか確認する」の実施までに、医療情報閲覧アカウントを登録しておいてください。

アカウントの登録は資格確認端末で登録します。

登録方法については、「**医療機関等向けオンライン資格確認等システム操作マニュアル 管理者編**」のP.24 (2)を参照してください。

医療情報閲覧用端末のセットアップ

▶▶ 参照先を記載しています。

以下の順で、医療情報閲覧用端末の接続に必要なソフトウェアをインストールします（複数の端末を使用する場合は、台数分同じ作業を実施してください）。

- 操作 **1** Windows11にユーザーアカウントを追加する ▶▶ P.2
- 操作 **2** ブラウザー（Microsoft Edge）を設定する ▶▶ P.6
- 操作 **3** Windowsの設定を変更する（Windows Update等） ▶▶ P.8
- 操作 **4** 認証局の電子証明書をインストールする ▶▶ P.16 ▶▶ オンライン請求ネットワーク関連システム 共通認証局ユーザーマニュアル
- 操作 **5** 医療情報閲覧用 オンライン資格確認等システムに接続する ▶▶ P.19
- 操作 **6** 患者情報を閲覧できるか確認する ▶▶ P.21

! セットアップ後はドキュメントに記載している状態で動かしてください。以下のような削除、変更などを行った場合は、正しく動作しないことがあります。その場合は、手順書に従って再度セットアップしてください。

- ・セットアップで展開された資料のこちらが想定しない改変を実施（削除、アクセス権変更等）
- ・クライアント証明書を削除
- ・有効期限が切れた古いクライアント証明書を使用している
- ・複数の端末にて共通のクライアント証明書を使用している
- ・TCPとUDPの53ポート（DNS）、80ポート（HTTP：証明書申請用）、123ポート（NTP）、443ポート（HTTPS）、8080ポート（プロキシ）を閉じた場合（httpsのダウンロード等がエラーになります）

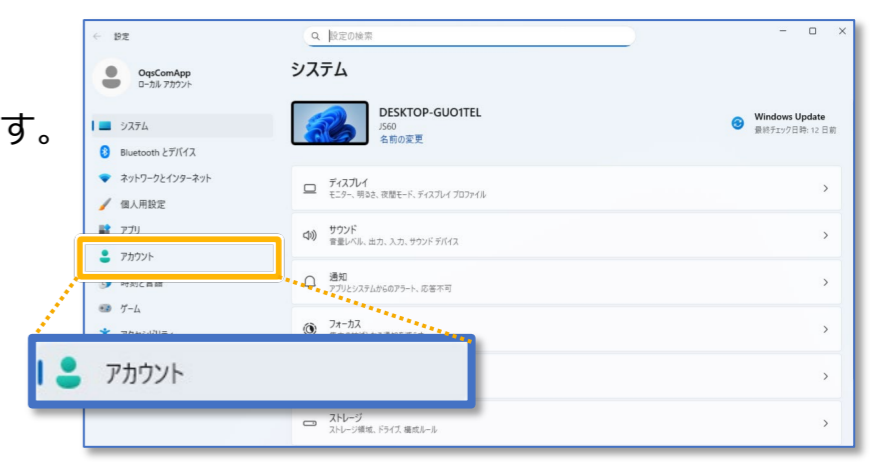
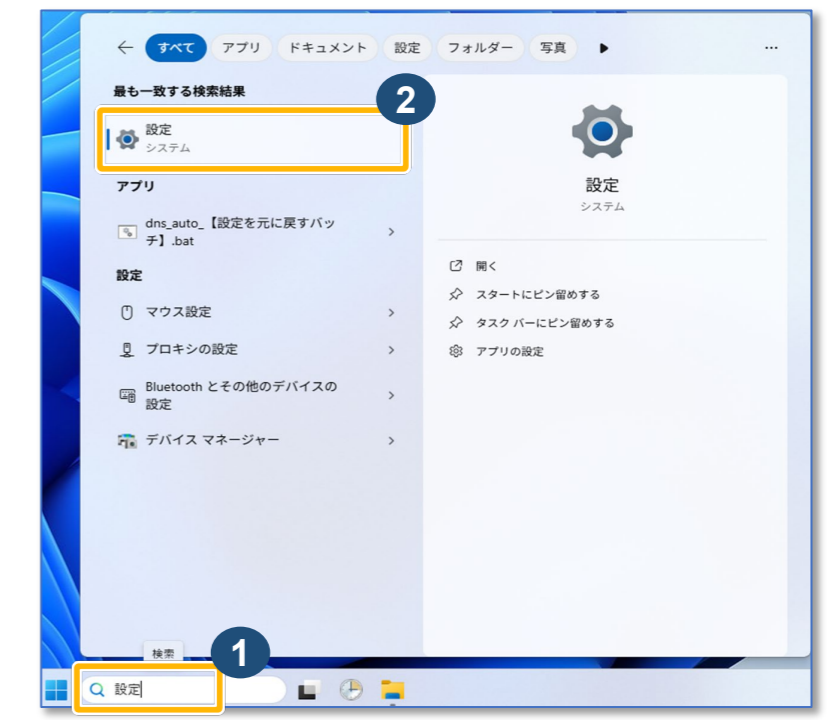
1 Windows11にユーザーアカウントを追加する

オンライン資格確認等システムを利用するため、Windowsに以下のユーザー情報を登録します。

注意 管理者権限を持つユーザーでWindowsにログインして登録します。

	ユーザー名	OqsComApp	※大文字小文字を識別します。左記のとおり指定してください
	パスワード	任意	

- 1** Windowsを起動します。
タスクバーにある**検索ボックス**をクリックし、検索ボックスに**設定**と入力します。
- 2** 検索結果が表示されます。
設定をクリックします。
- 3** 設定が表示されます。
アカウントをクリックします。



1 Windows11にユーザーアカウントを追加する (つづき)

4 アカウントが表示されます。
その他のユーザー をクリックします。

こんなときは!

Window10の場合
家族と**その他のユーザー**をクリックします。

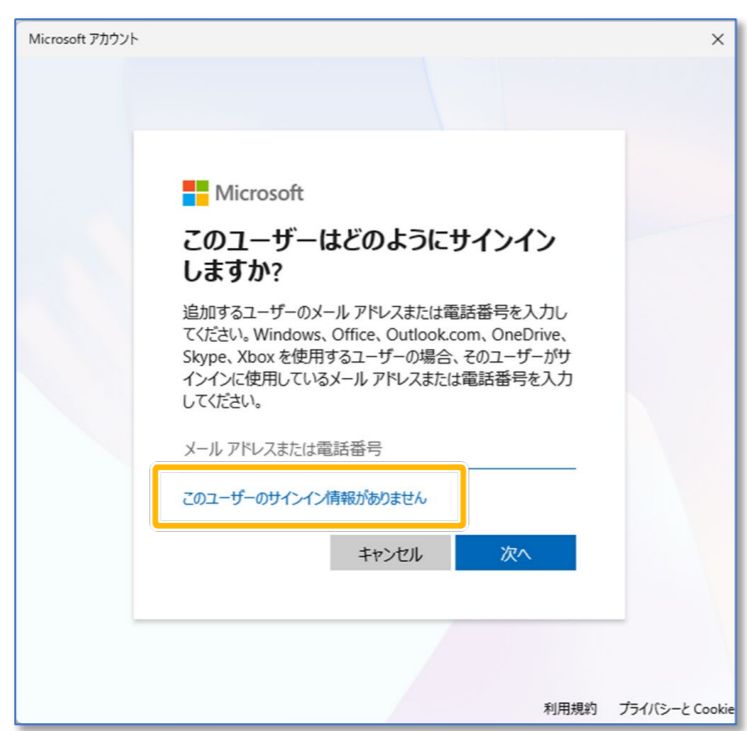
家族とその他のユーザーが表示後、**その他のユーザー**をこのPCに追加をクリックします。



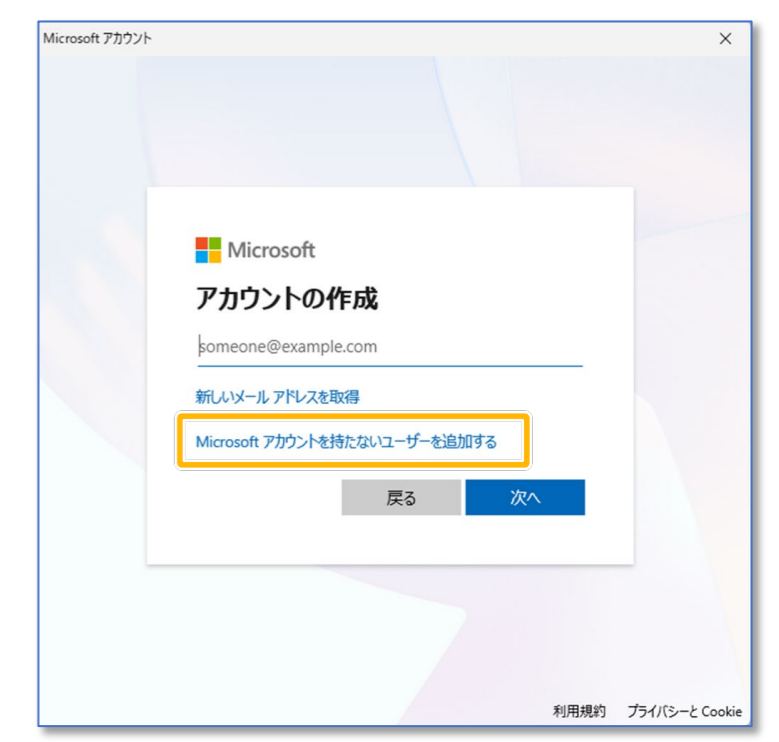
5 その他のユーザーが表示されます。
アカウントの追加 をクリックします。



6 このユーザーはどのようにサインインしますか?が表示されます。
このユーザーのサインイン情報がありません をクリックします。



7 アカウントの作成が表示されます。
Microsoftアカウントを持たないユーザーを追加する をクリックします。

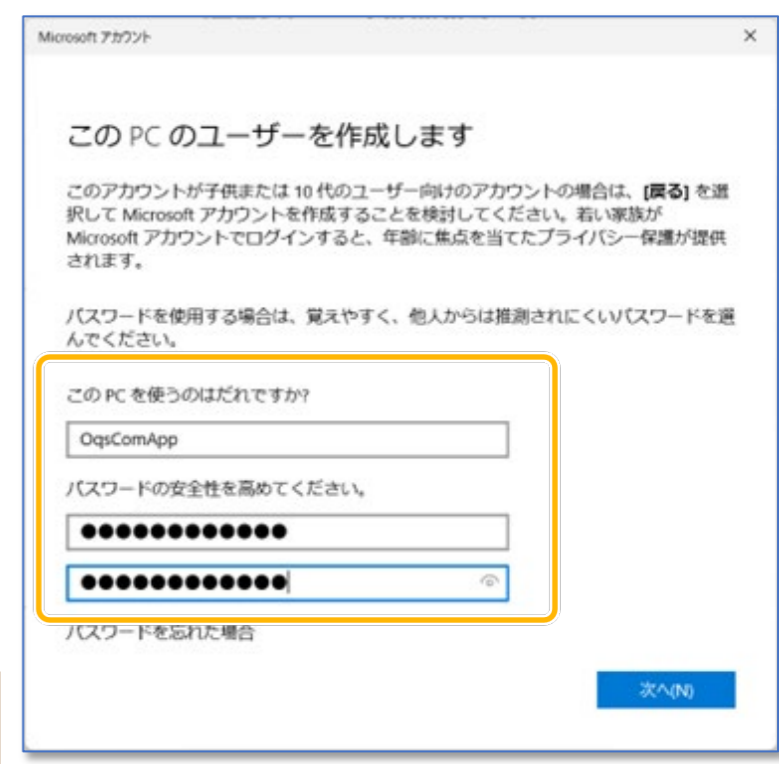


8 このPC用のアカウントの作成が表示されます。
このPCを使うのはだれですか?に、**OqsComApp**と入力します。

注意
ユーザー名は大文字と小文字を区別します。

パスワードは任意のパスワードを入力します (2か所)。

注意
「医療情報システムの安全管理に関するガイドライン」、医療機関・薬局のセキュリティポリシー等を遵守する形で、Windowsの設定を行っていただきますようお願いいたします。

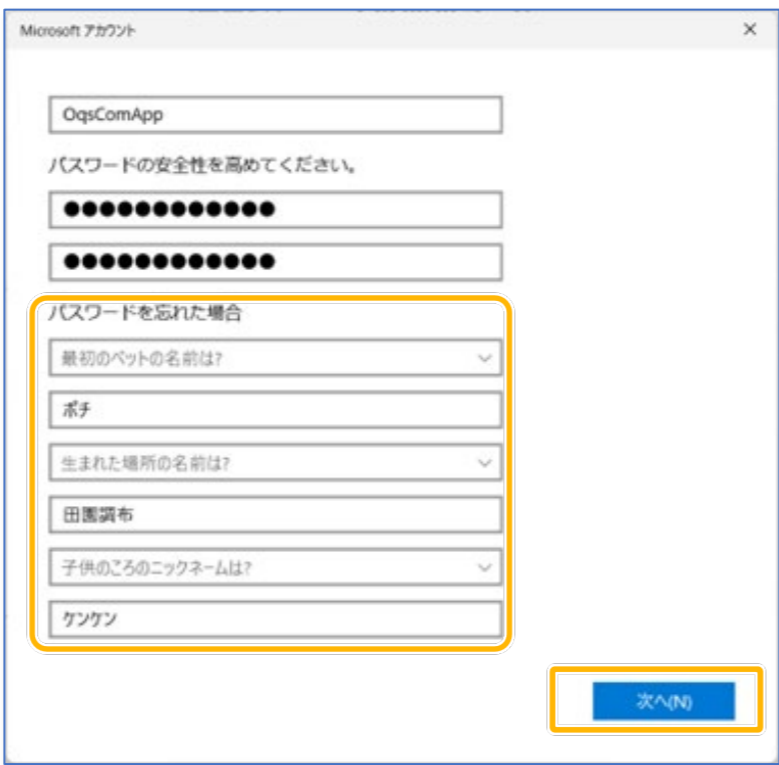


9 へ進む

1 Windows11にユーザーアカウントを追加する (つづき)

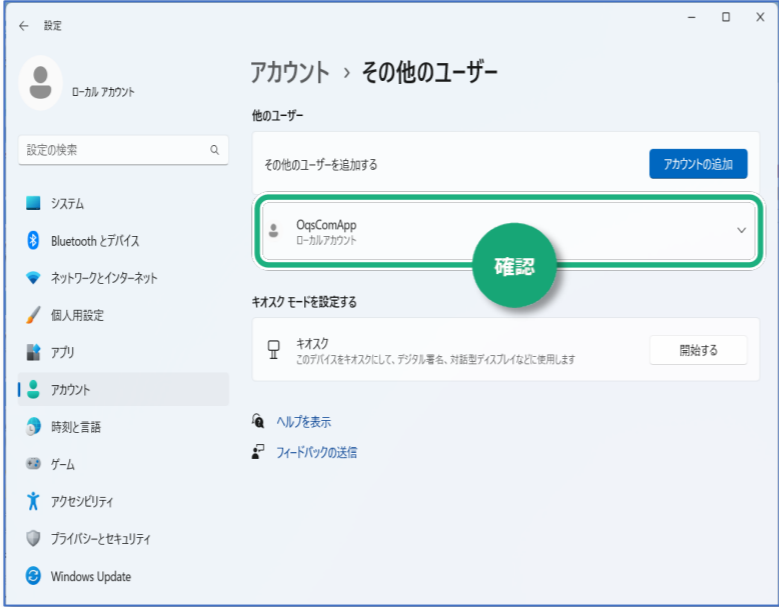
9 8で設定したパスワードを忘れた場合の、「質問」とそれに対応する本人しか知らない「答え」を設定します。

セキュリティの質問を選択し、答えを入力します(3か所)。設定後、次へをクリックします。



10 その他のユーザーが表示されます。

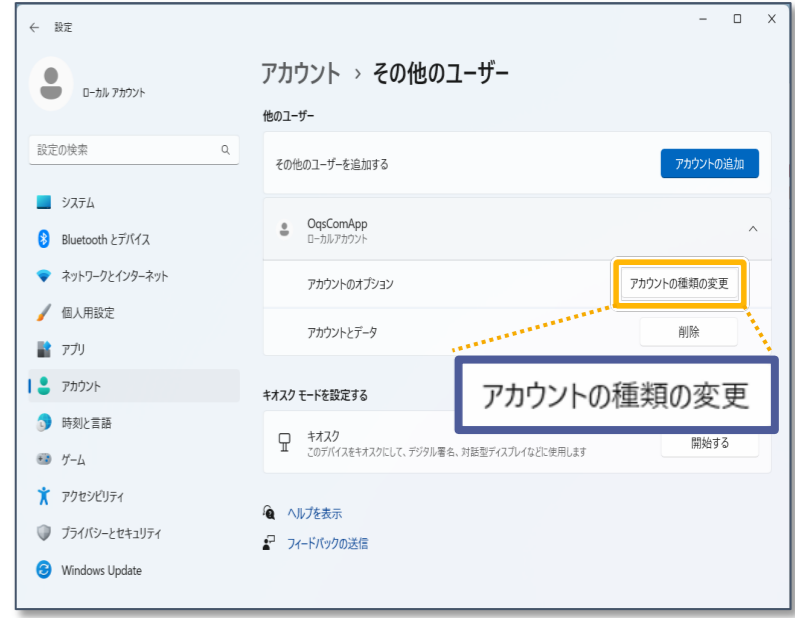
OqsComApp というユーザーが作成されたことを確認します。



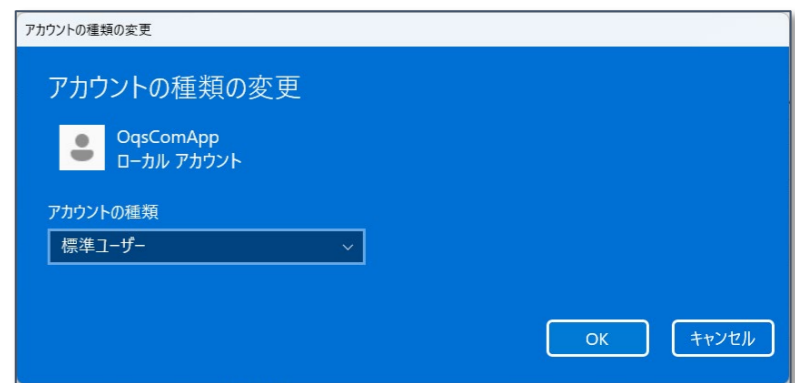
アカウントの種類を変更する

作成したOqsComAppユーザーのアカウントを管理者として設定します。

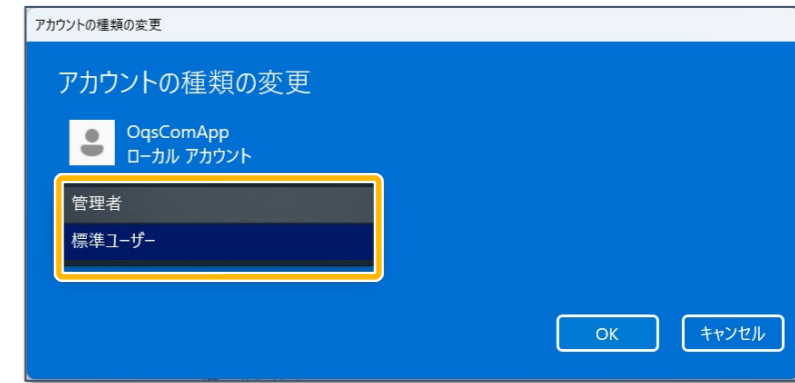
1 作成したOqsComApp をクリックし、表示されるボタンから、アカウントの種類の変更 をクリックします。



2 アカウントの種類の変更が表示されます。

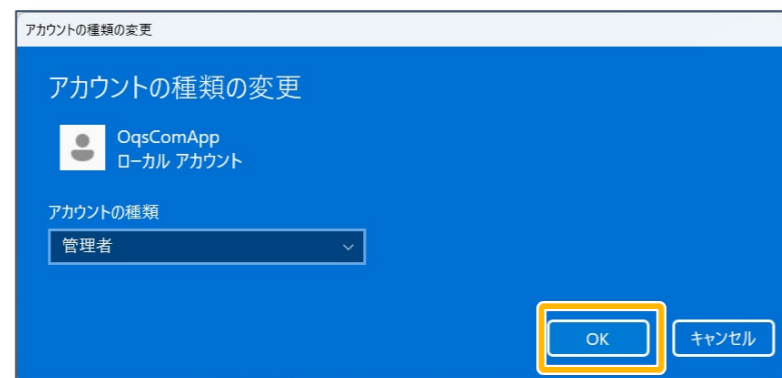


3 アカウントの種類をクリックし、管理者をクリックします。



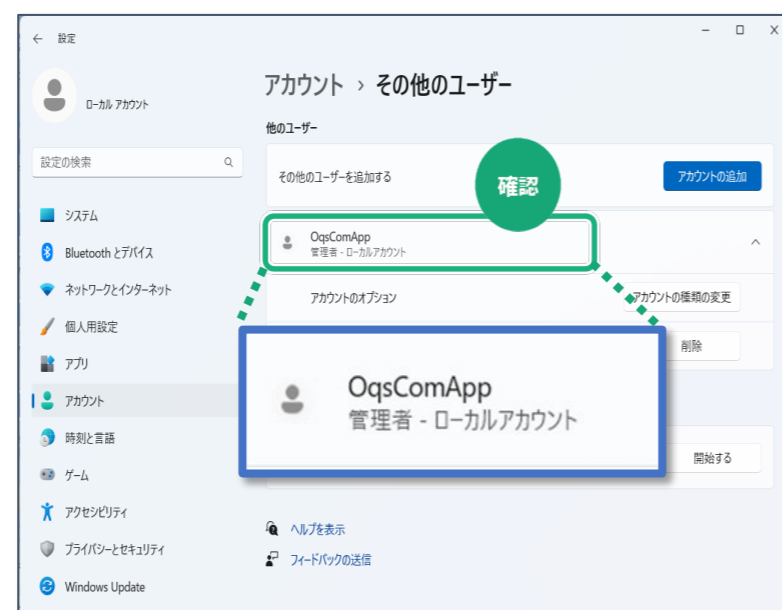
1 Windows11にユーザーアカウントを追加する（つづき）

4 OKをクリックします。



5 その他のユーザーが表示されます。

OqsComAppに管理者ローカルアカウントと表示されたことを確認します。

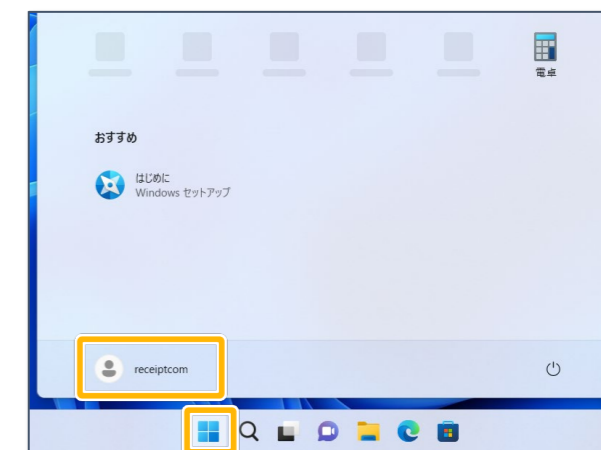


Windows11にユーザーが追加されました。
作成したユーザーでログインし直します。

作成したアカウントでログインし直す

作成したアカウントで、Windowsにログインし直します。

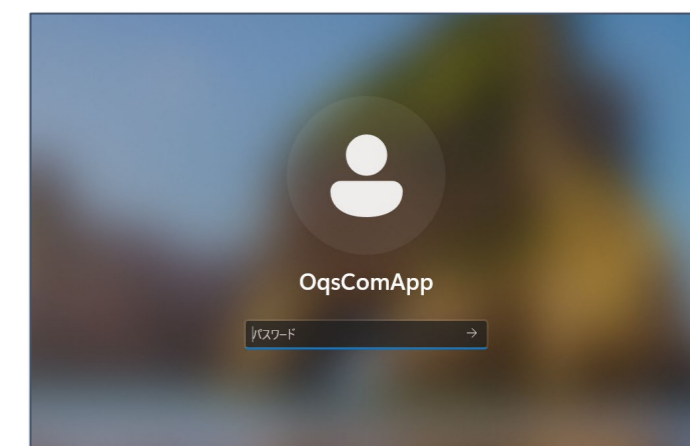
1 スタートボタンをクリックし、アカウントアイコンをクリックします。



2 作成したユーザー（ここでは、OqsComApp）をクリックします。



3 ログイン画面が表示されたら、作成したユーザーでログインします。



作成したユーザーでログインできました。

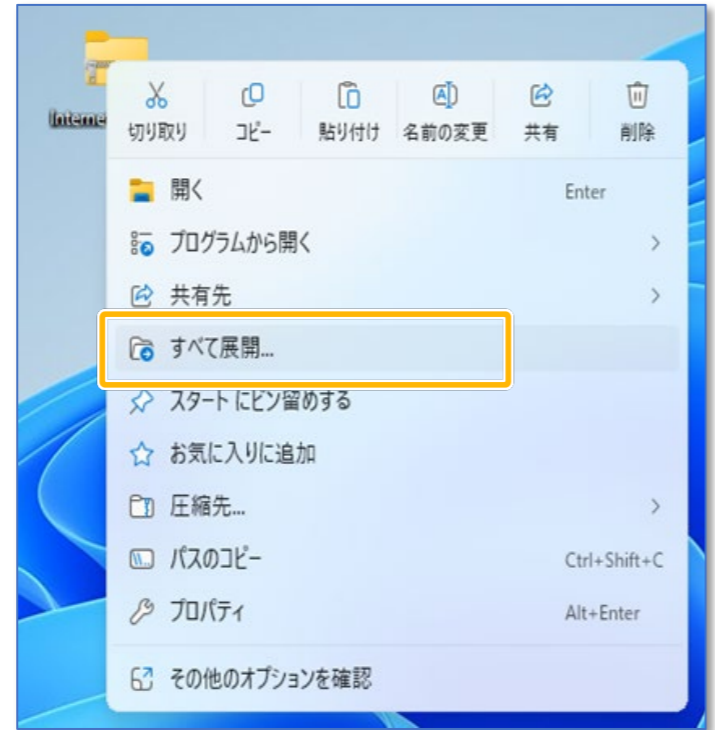
➡ 2 ブラウザー（Microsoft Edge）を設定する に進みます

2 ブラウザー (Microsoft Edge) を設定する

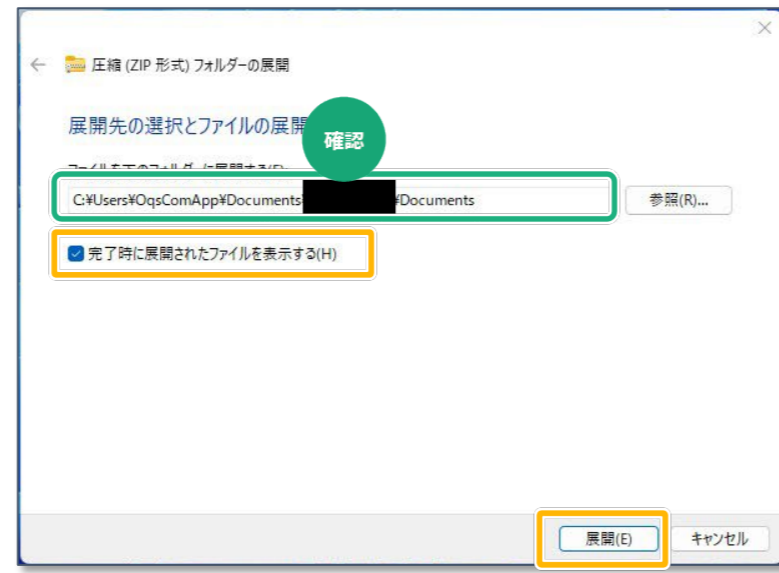
ブラウザ設定ツールを実行します

医療機関等ベンダーよりブラウザ設定ツール (InternetPropertySetting.zip) を入手及び実行し、ブラウザ設定を行います。

- 1 医療機関ベンダーより入手したブラウザ設定ツール (InternetPropertySetting.zip) をデスクトップにコピーし、右クリックして、すべて展開(T)を選択します。



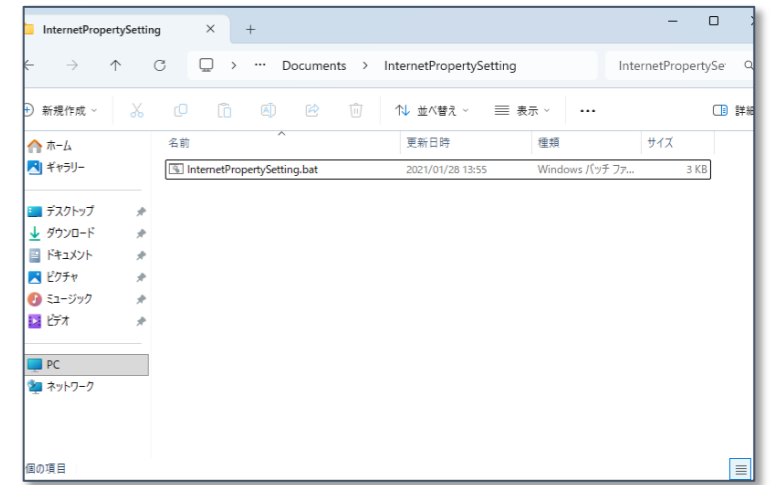
- 2 展開先の選択画面が表示されます。任意の展開先を選択してください。



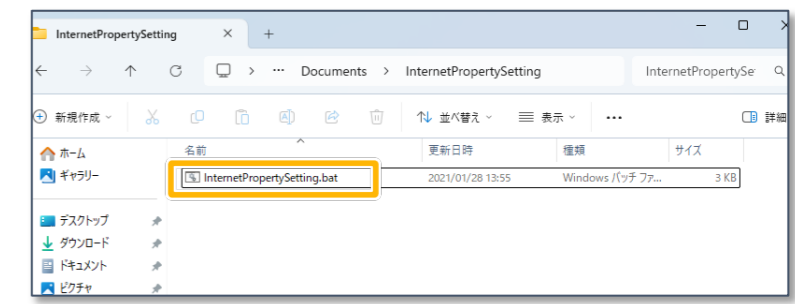
完了時に展開されたファイルを表示するのをクリックし、を入れます。

展開をクリックします。

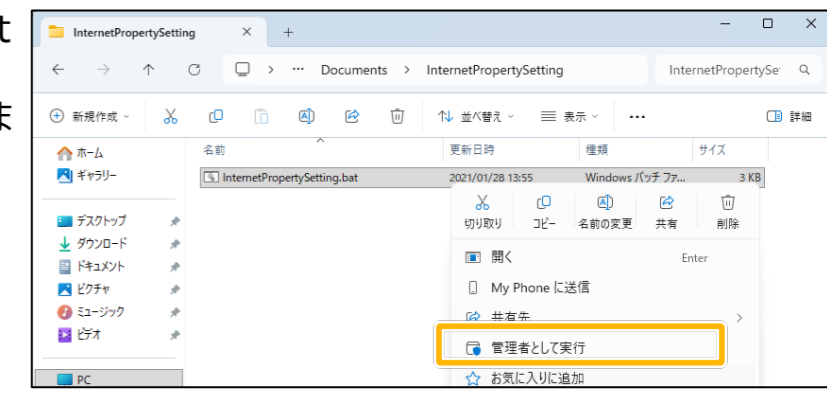
- 3 展開が完了すると、フォルダが表示されます。



- 4 InternetPropertySetting.batが表示されます。



- 5 InternetPropertySetting.batを右クリックし、表示されるメニューから**管理者として実行**をクリックします。



こんなときは！
メッセージ画面が表示された場合
 このアプリがデバイスに変更を加えることを許可しますか？というメッセージ画面が表示された場合は、**はい** をクリックしてインストールを続行します。

↓
6 へ進む

2 ブラウザー（Microsoft Edge）を設定する（つづき）

- 6 開いているファイル-セキュリティの報告が表示されます。
実行 をクリックします。



- 7 ファイルが実行され、処理完了です。



ブラウザー設定が完了しました。

>> 3 Windowsの設定を変更する（Windows Update等）に進みます

3 Windowsの設定を変更する (Windows Update等)

Windows Update自動更新のための準備及びオンライン資格確認等システムにおける画面、テキスト、項目サイズ等について以下のWindowsの設定を変更します。

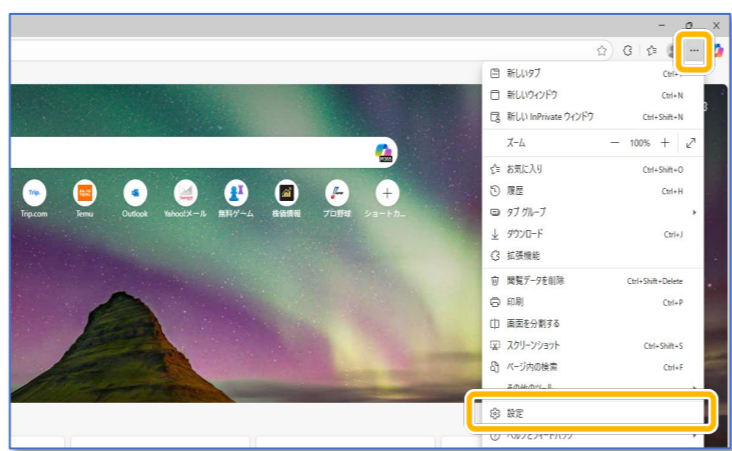
- プロキシサーバーの設定
 - 時刻設定の変更
 - ■ ディスプレイの設定
 - Windows Updateの自動化の設定
 - Windows Updateのアクティブ時間の設定
- 全ての医療機関等で設定してください
- 資格確認端末の電源ON・OFFを自動で行う医療機関等は追加で設定してください
- 資格確認端末の電源ON・OFFを手動で行う医療機関等は追加で設定してください

以下の医療機関等について、●のついた項目は必須です。以外の項目は必要に応じて設定してください。

- ・ レセプトコンピューターと資格確認端末を兼用する医療機関等
- ・ 資格確認端末のOSがWindows11 Proの医療機関等

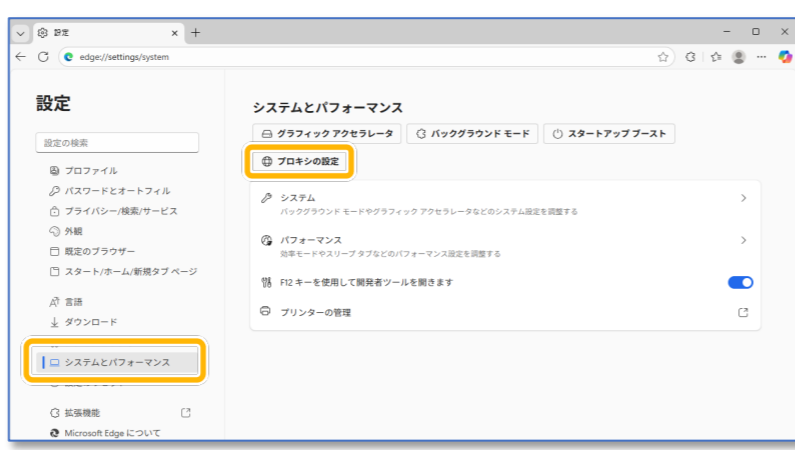
プロキシサーバーを設定します

1 Microsoft Edgeを起動し、
⋮ (設定など) から**設定**をクリックします。



2 設定が表示されます。

システムとパフォーマンスタブから**プロキシの設定**をクリックします。



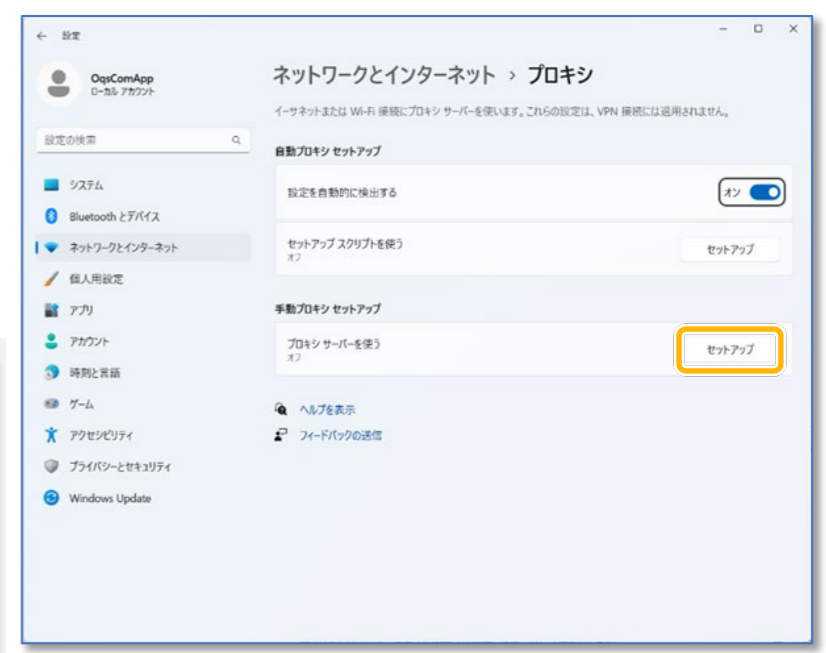
3 システムとパフォーマンス/
システムが表示されます。

プロキシセットアップを開く
をクリックします。



4 プロキシが表示されます。

手動プロキシ セットアップ
の**プロキシサーバーを使うの**
セットアップをクリックし
ます。



Window10の場合
手動プロキシ セットアップ
の**プロキシ**
サーバーを使うの
設定を有効 (トグルボ
タンが右側にある)
にします。

手動プロキシ セットアップ

イーサネットまたは Wi-Fi 接続にプロキシサーバーを使います。これは、VPN 接続には適用されません。

プロキシサーバーを使う オン

アドレス proxy.base.oqs-pdl.org ポート 8080

次のエントリで始まるアドレス以外にプロキシサーバーを使います。切るにはセミコロン (;) を使います。
*onshikaku.org

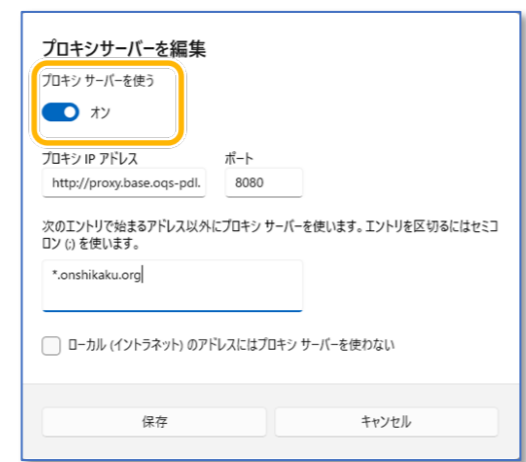
ローカル (イントラネット) のアドレスにはプロキシサーバーを使

保存

5 へ進む

3 Windowsの設定を変更する (Windows Update等) (つづき)

5 プロキシサーバーを編集が表示されます。
プロキシサーバーを使うの設定を有効 (トグルボタンが右側にある) にします。



! 設定内容は利用される配信方法 (ネットワーク構成) に応じて異なります。ご利用の環境がどの構成に当てはまるかご確認の上、次の 5 の設定を行ってください。

- ① 配信拠点起点の構成
→ 本手順のとおり設定してください (次ページ 5 の設定を行ってください)
- ② ネットワーク事業者起点の構成
→ 提供するネットワーク事業者にお問い合わせください
- ③ 医療機関等起点の構成
→ 医療機関システム管理者、もしくはシステムベンダーへお問い合わせください。

使用する回線に応じて、構成は以下のとおり分類されます。(2021年6月時点)

■ IPsec+IKEサービス提供事業者 (インターネット接続方式)

事業者名	構成
株式会社NTTPC コミュニケーションズ	配信拠点起点
株式会社NTTデータ中国	ネットワーク事業者起点
三菱電機 インフォメーション ネットワーク 株式会社	ネットワーク事業者起点
富士通株式会社	配信拠点起点

■ IP-VPN接続方式 (光回線)

事業者名	構成
NTT東日本・西日本	配信拠点起点
中部テレコミュニケーション 株式会社 (CTC)	配信拠点起点
株式会社Q Tnet	配信拠点起点

■ その他

医療機関・薬局等のプロキシサーバー等を使用し、インターネットを経由して、配信クラウド、マイクロソフトに直接アクセス (構成: 医療機関等起点)

6 以下の内容を入力します。

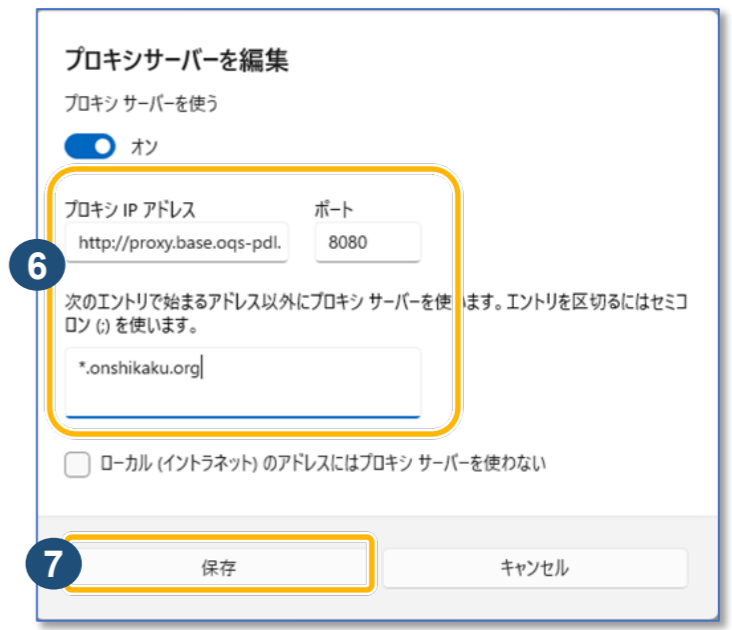
アドレス
 proxy.base.oqs-pdl.org

ポート 8080

次のエントリで始まるアドレス以外にプロキシサーバーを使います。...

- *.onshikaku.org;
- *.flets-east.jp;
- *.flets-west.jp;
- *.lineauth.mnw;
- *.obn.managedpki.ne.jp;
- *.cybertrust.ne.jp;
- *.secomtrust.net;
- *.rece

7 保存 をクリックします。



💡 こんなときは!
プロキシサーバーを使用しないアドレスの登録について
 左記以外にも、医療機関等の環境に応じて登録が必要なアドレスがある場合は追加してください。

3 Windowsの設定を変更する (Windows Update等) (つづき)

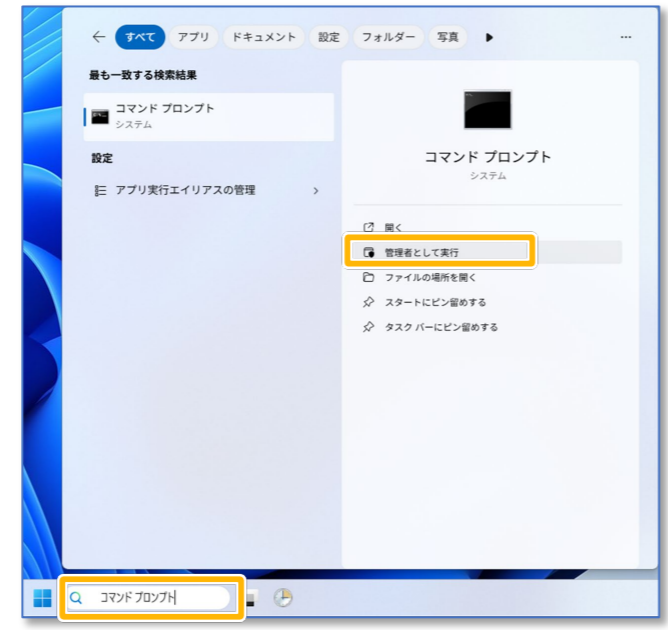
プロキシ設定コマンドを実行します

プロキシの設定後、以下の2つのコマンドを実行してください。

- 1 コマンドプロンプトを起動します。

タスクバーにある**検索ボックス**をクリックし、検索ボックスに**コマンドプロンプト**と入力します。**管理者として実行**をクリックします。

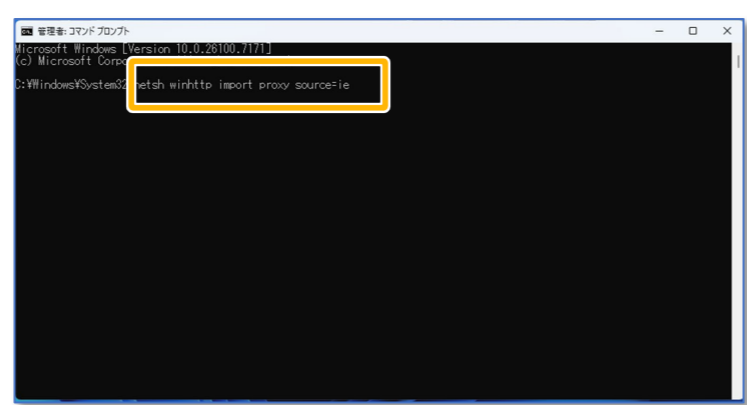
▲ 半角又は全角スペースを入れてください。



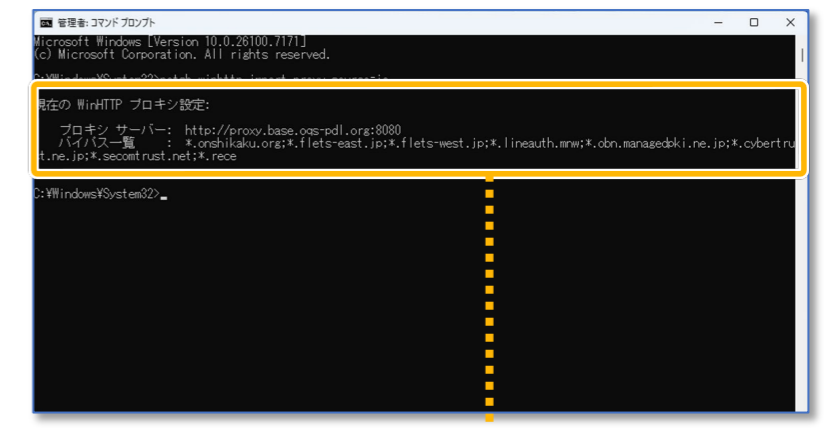
- 2 管理者 : コマンドプロンプトが表示されます。

以下のコマンドを入力し、Enterキーを押します。

```
netsh winhttp import proxy source=ie
```



- 3 以下の内容が表示されたことを確認します。

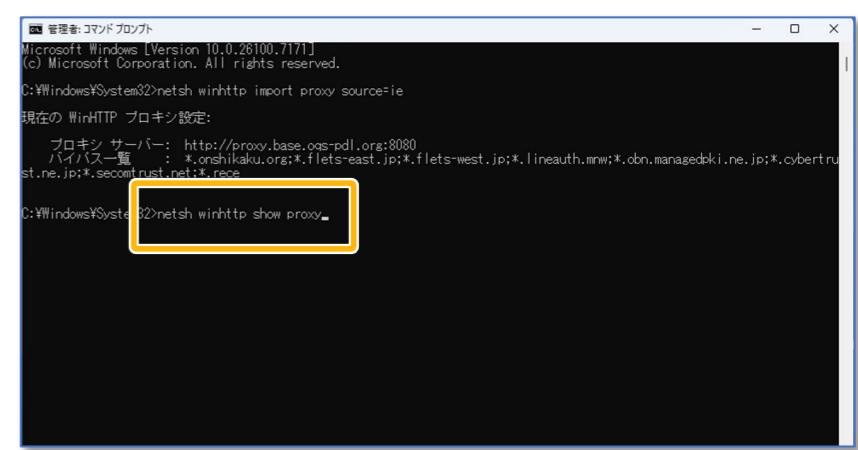


表示内容

現在の WinHTTP プロキシ設定
 プロキシ サーバー : http://proxy.base.oqs-pdl.org:8080
 バイパス一覧 : *.onshikaku.org;*.flets-east.jp;*.flets-west.jp;
 .lineauth.mnw;.obn.managedpki.ne.jp;*.cybertrust.ne.jp;*.secomtrust.net;*.rece

- 4 以下のコマンドを入力し、Enterキーを押します。

```
netsh winhttp show proxy
```

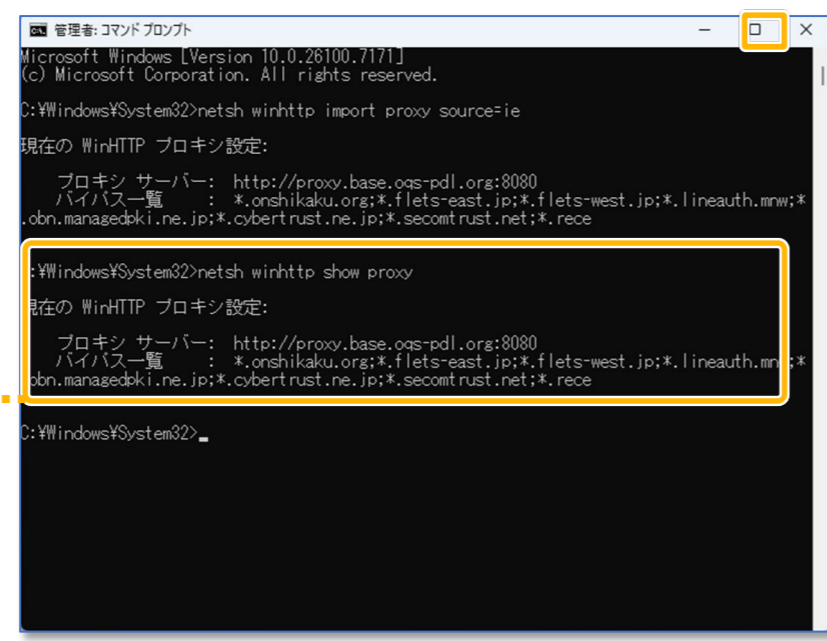


5 へ進む

3 Windowsの設定を変更する (Windows Update等) (つづき)

5 以下の内容 (3 と同じ) が表示されたことを確認します。

確認が完了したら、右上の X ボタンをクリックして画面を閉じます。



表示内容

現在の WinHTTP プロキシ設定
 プロキシ サーバー : http://proxy.base.oqs-pdl.org:8080
 バイパス一覧 : *.onshikaku.org;*.flets-east.jp;*.flets-west.jp;
 .lineauth.mnw;.obn.managedpki.ne.jp;*.cybertrust.ne.jp;*.secomtrust.net;*.rece

注意

P.8の (注意) で記載したネットワーク事業者起点の構成 又は医療機関等起点の構成の場合は、問い合わせた内容どおりに設定されていることを確認してください。

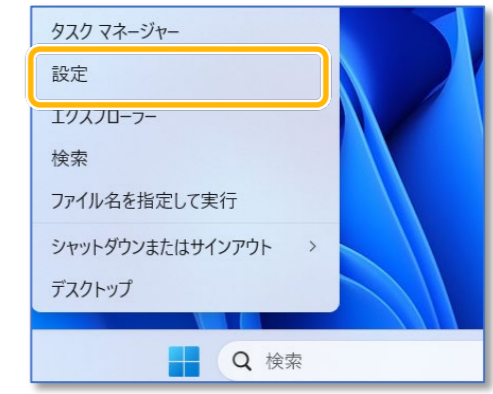
プロキシサーバーが閉塞している期間は、Windows Updateがエラーになります。プロキシサーバーの運用スケジュールは、医療機関等向け総合ポータルサイトを確認してください。

プロキシサーバーの設定が完了しました。

時刻の設定を変更します

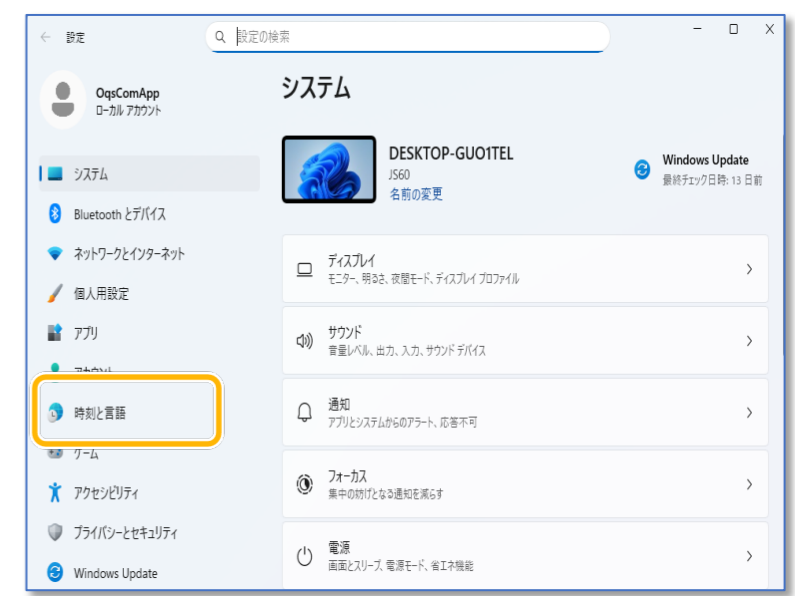
配信拠点起点の構成の場合、本手順のとおり設定してください。ネットワーク事業者起点の構成、又は医療機関等起点の構成の場合、5 の代替として指定可能なインターネット時刻サーバーが存在するかを構成ごとの問い合わせ先にご確認ください。存在しない場合は本手順をスキップしてください。

1 スタートメニューを右クリックし、表示されるメニューから設定をクリックします。



2 Windowsの設定が表示されます。

時刻と言語をクリックします。



3 時刻と言語が表示されます。

日付と時刻 をクリックします。



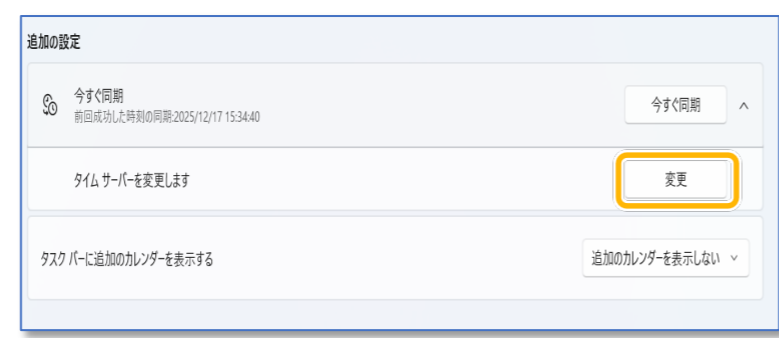
4 へ進む

3 Windowsの設定を変更する（Windows Update等）（つづき）

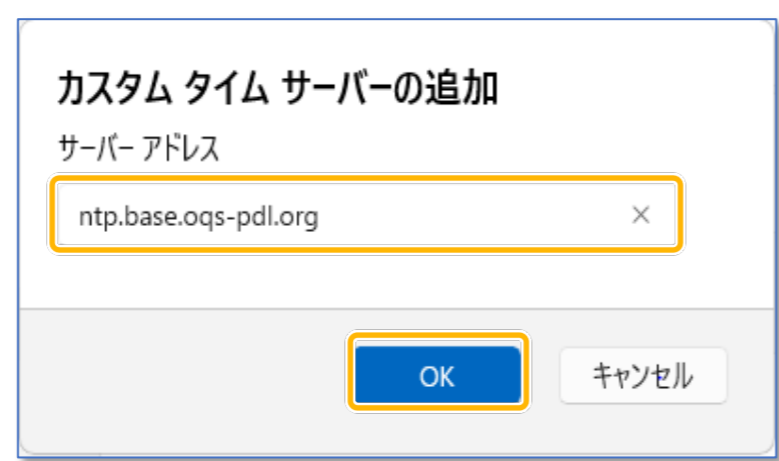
4 日付と時刻が表示されます。
追加の設定 から **今すぐ同期** をクリックします。



5 タイム サーバーを変更します が表示されます。
変更 をクリックします。



6 カスタム タイム サーバーの追加 が表示されます。
サーバー アドレスに以下の内容を入力し、**OK** をクリックします。
ntp.base.oqs-pdl.org



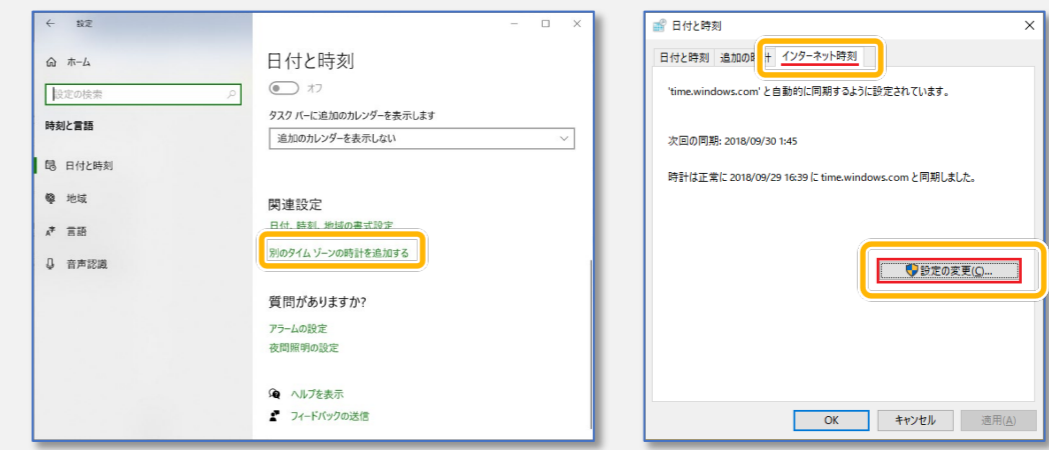
7 右図のメッセージと マークが表示されたことを確認します。



こんなときは！ 同期が失敗した場合
「ntp.base.oqs-pdl.org と同期中にエラーが発生しました。ピアは解決されていません。」と表示されます。
＜対処方法＞
入力内容に誤りがないか確認してください。解消しない場合は、通信回線の設定が正しくされていることを確認（ネットワーク事業者より提供されたマニュアルを参照）してください。

こんなときは！ ご利用のネットワーク機器がDNSラウンドロビン非対応の場合
配信拠点のNTPサーバーはDNSラウンドロビンにより、複数のIPアドレスを応答します。該当する場合、別紙トラブルシューティングをご確認ください
別紙 トラブルシューティング 補24

こんなときは！ Window10の場合
4 の日付と時刻から、別のタイムゾーンの時計を追加するをクリックし、インターネット時刻タブの設定の変更より、サーバーアドレスの設定を行います。



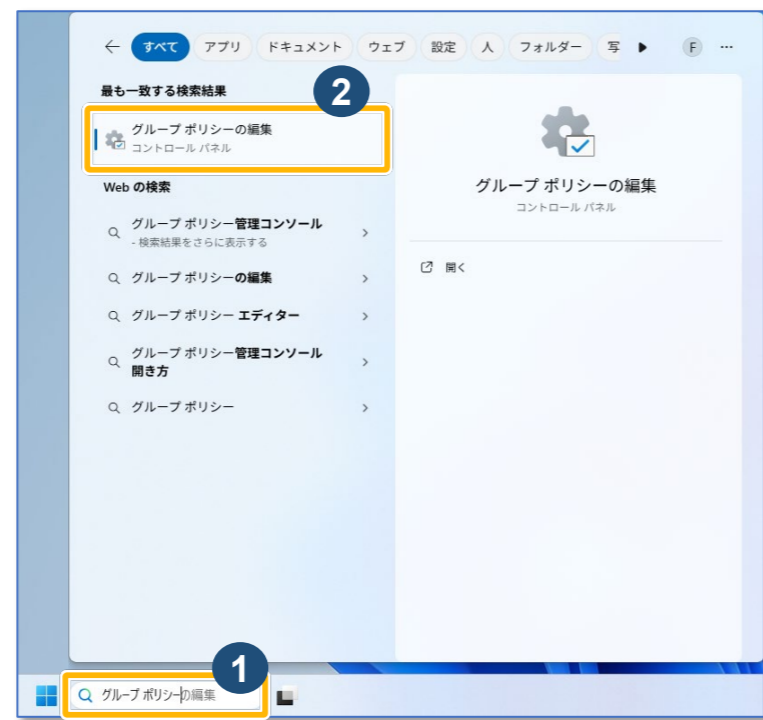
時刻の設定変更が完了しました。

3 Windowsの設定を変更する (Windows Update等) (つづき)

Windows Updateの自動化を設定します

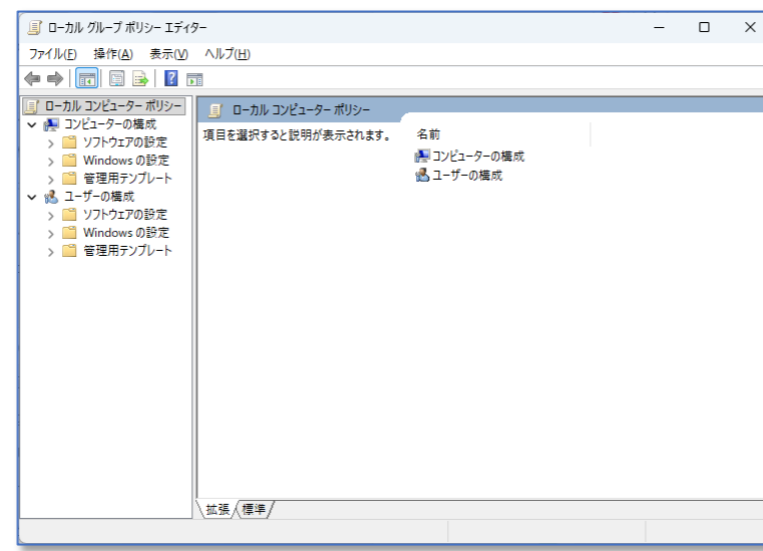
! 自動でパソコンの電源ON・OFFを行う医療機関等は本設定を実施してください。

1 タスクバーにある**検索ボックス**をクリックし、検索ボックスに**グループポリシー**と入力します。
▲ 半角又は全角スペースを入れてください。



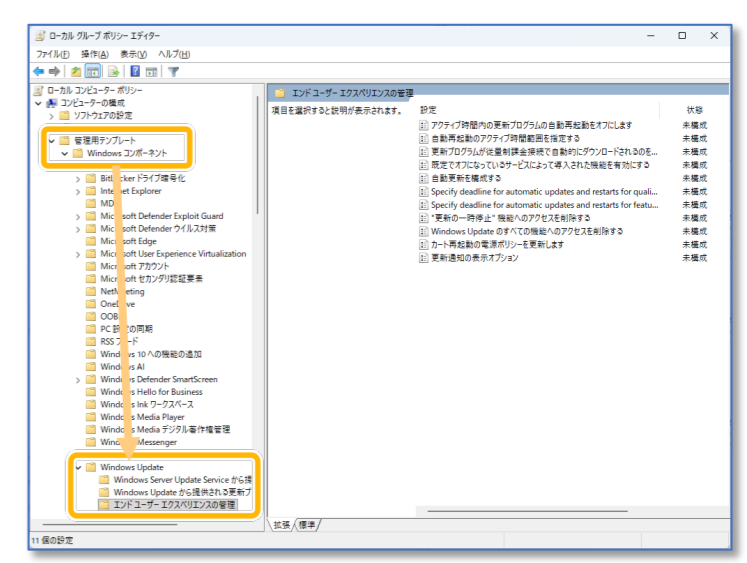
2 検索結果から、**グループポリシーの編集**をクリックします。

3 ローカルグループポリシーエディターが表示されます。

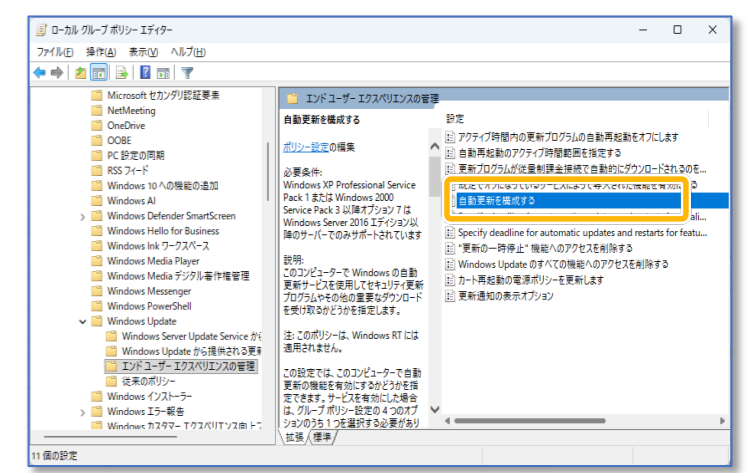


4 メニューから、**コンピューターの構成**→**管理用テンプレート**→**Windowsコンポーネント**→**Windows Update** → **エンドユーザーエクスペリエンスの管理**の順で選択します。

! こんなときは！
Windows10の場合
メニューから、**コンピューターの構成**→**管理用テンプレート**→**Windowsコンポーネント**→**Windows Update**の順で選択します。

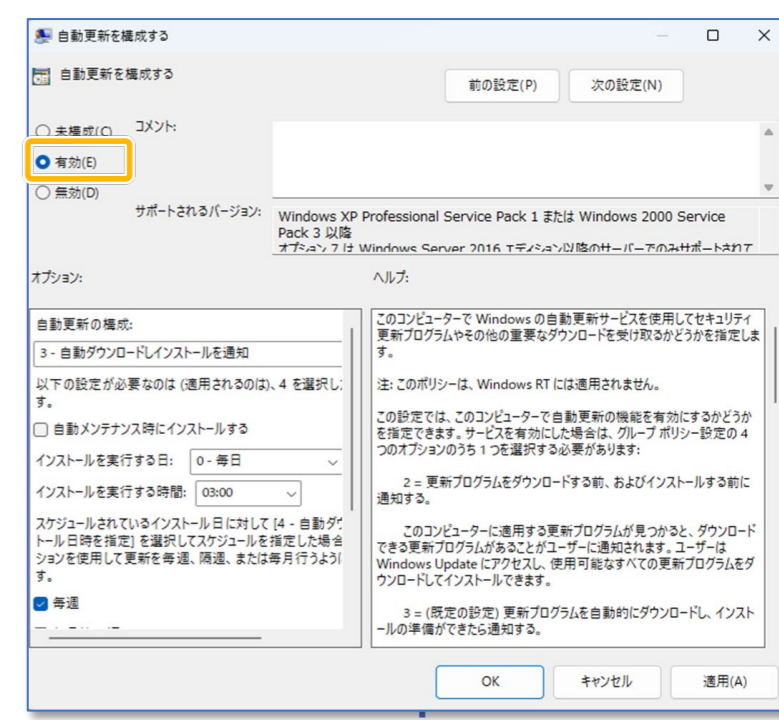


5 **自動更新を構成する** をダブルクリックします。



6 自動更新を構成するが表示されます。

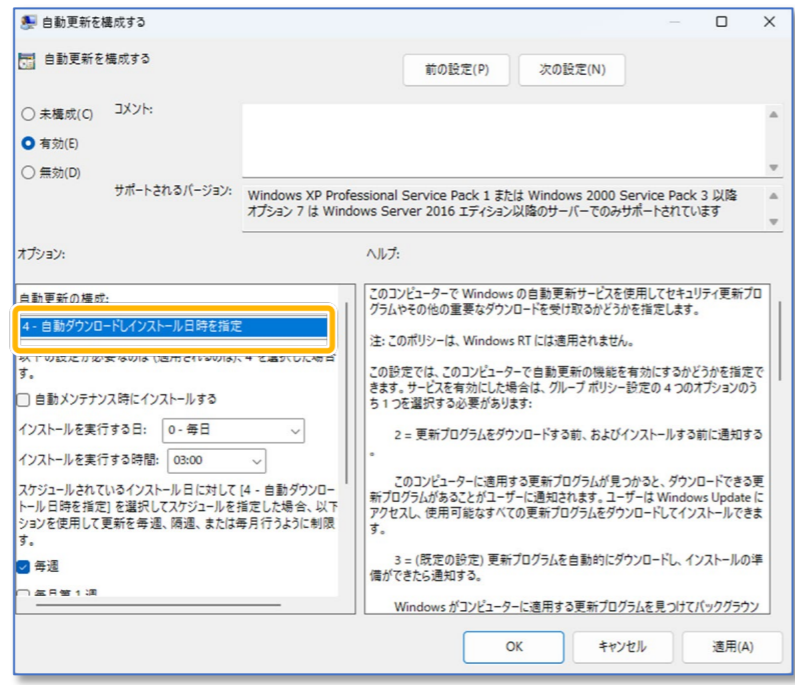
有効(E)のラジオボタンにチェックを入れます。



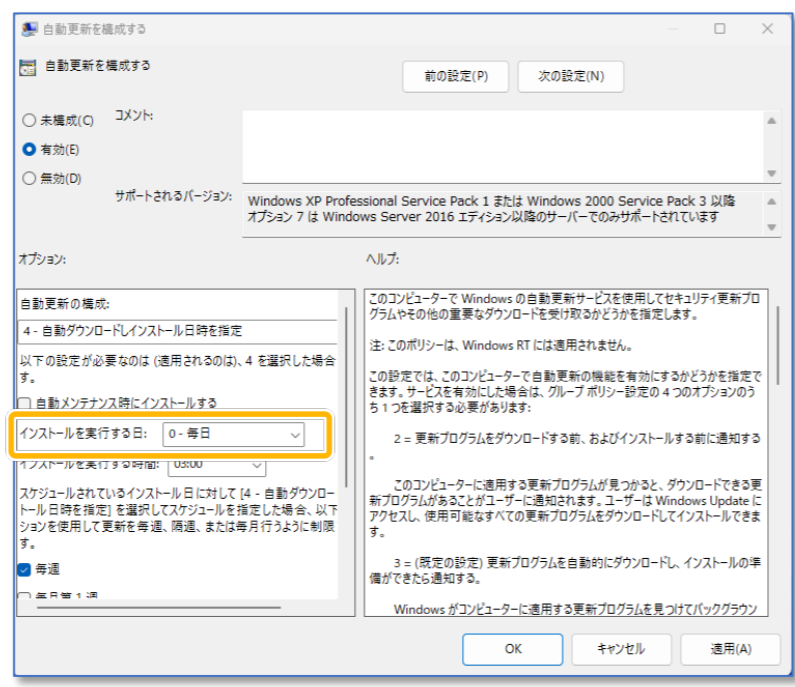
7 へ進む

3 Windowsの設定を変更する (Windows Update等) (つづき)

7 オプション:にて、「自動更新の構成:」のプルダウンから、4 - 自動ダウンロードしインストール日時を指定を選択します。



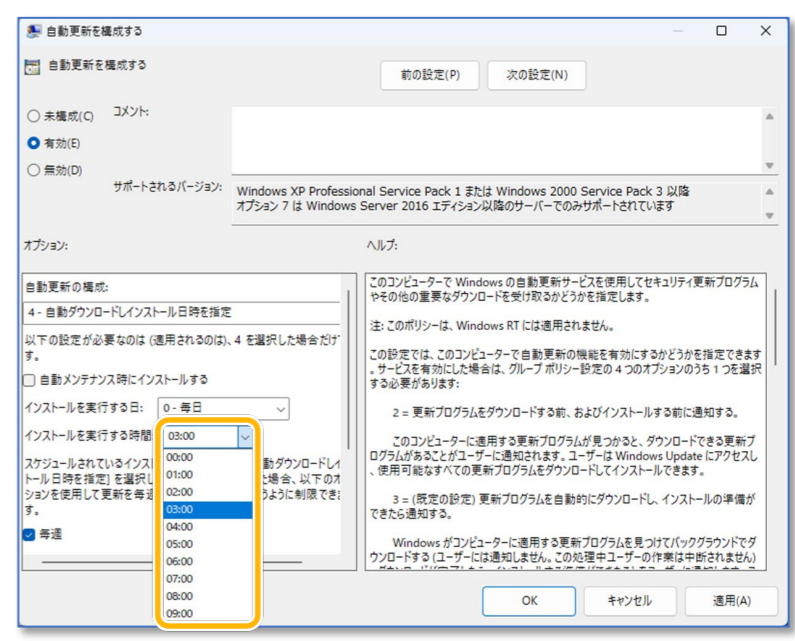
8 「インストールを実行する日:」のプルダウンから、0 - 毎日を選択します。



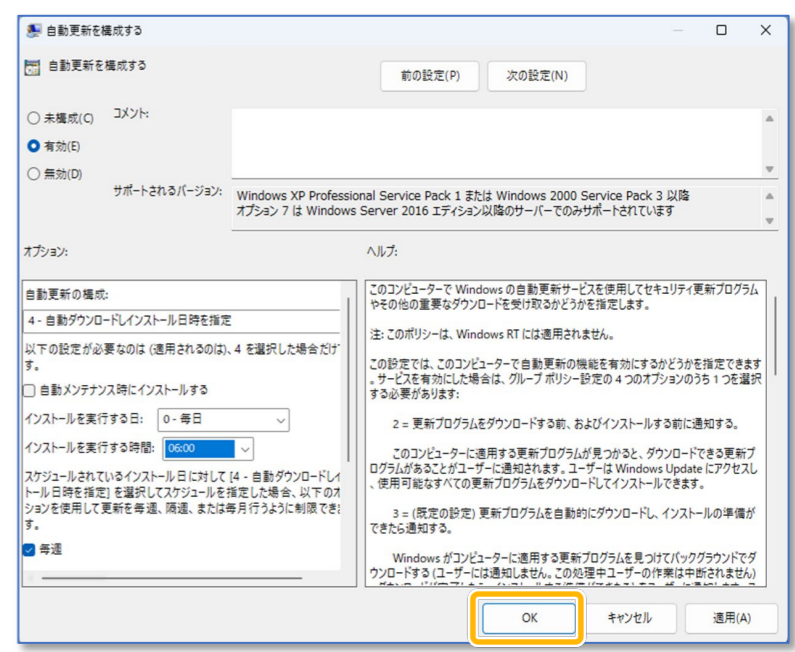
9 へ進む

9 「インストールを実行する時間:」のプルダウンから、業務に支障がないよう診療（業務）時間外で再起動の時刻を設定します。

注意
タスクスケジューラによる再起動スケジュール時刻（医療機関等向けセットアップ手順書参照）の後、業務開始より前の時刻を選択してください。



10 OKをクリックします。



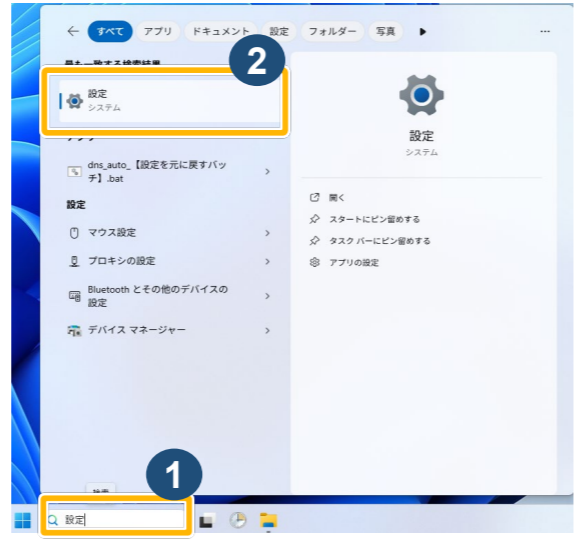
Windows Updateの自動化の設定が完了しました。

3 Windowsの設定を変更する（Windows Update等）（つづき）

Windows Updateのアクティブ時間を設定します

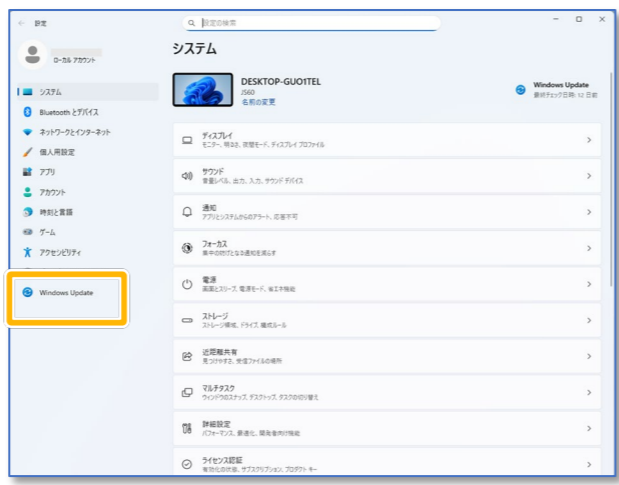
! 手動でパソコンの電源ON・OFFを行う医療機関等は本設定を実施してください。

1 タスクバーにある**検索ボックス**をクリックし、検索ボックスに**設定**と入力します。



2 検索結果から、**設定**をクリックします。

3 Windowsの設定が表示されます。
メニューからの**Windows Update**をクリックします。

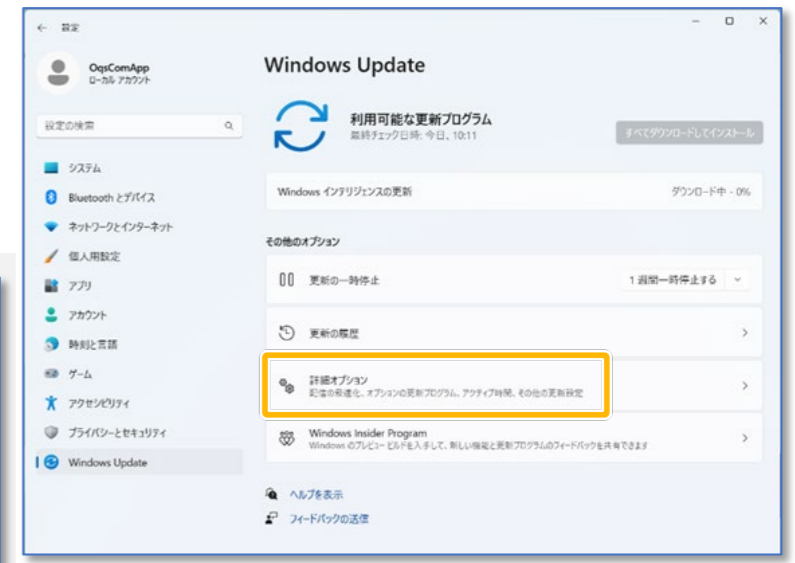


! **こんなときは！**

Window10の場合
更新とセキュリティ をクリックします。

4 **Windows Update**が表示されます。

右メニューから **詳細オプション** をクリックします。

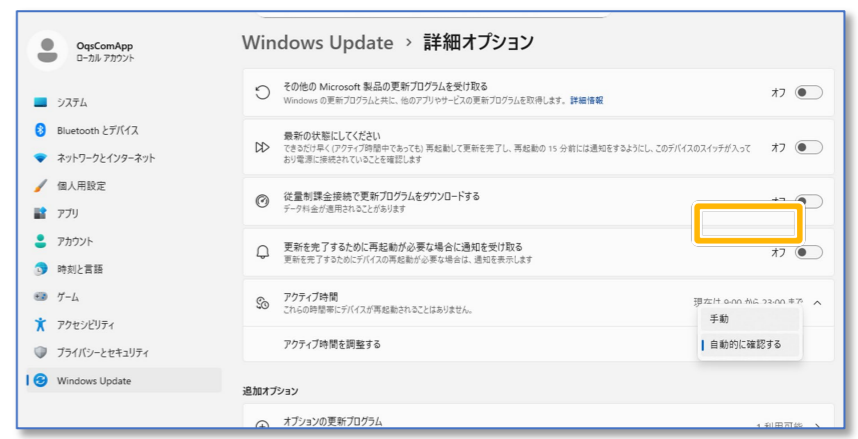


! **こんなときは！**

Window10の場合
右メニューの**アクティブ時間の変更**をクリックします。

5 詳細オプションが表示されます。

アクティブ時間 をクリックし、「**アクティブ時間を調整する**」のプルダウンから、**手動** を選択します



6 **アクティブ時間**が表示されます。

業務に支障がないよう**端末の再起動を抑制したい時間帯**を入力します。

例)
開始時刻に**08:00**を選択。
終了時刻に**20:00**を選択。



Windows Updateのアクティブ時間の設定が完了しました。

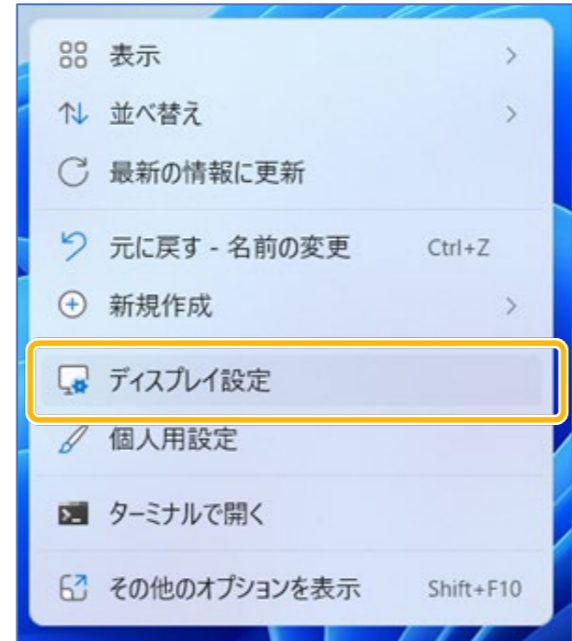
3 Windowsの設定を変更する（Windows Update等）（つづき）

ディスプレイ設定を変更します

オンライン資格確認等システムにおける画面、テキスト、項目等のサイズをディスプレイ設定で100%に設定します。
設定しない場合、下図右側のようにボタンが収まらず、スクロールが発生することがあります。



1 医療情報閲覧用端末のデスクトップで右クリックし、表示されるメニューから**ディスプレイ設定**をクリックします。



2 設定が表示されます。

拡大縮小とレイアウトの**拡大/縮小（テキスト、アプリ、その他の項目のサイズを変更します）を100%**にします。



3 X（閉じる）をクリックします。



オンライン資格確認等システムにおける画面、テキスト、項目サイズ等に関するWindows設定変更が完了しました。

4 認証局の電子証明書をインストールするに進みます

4 認証局の電子証明書をインストールする

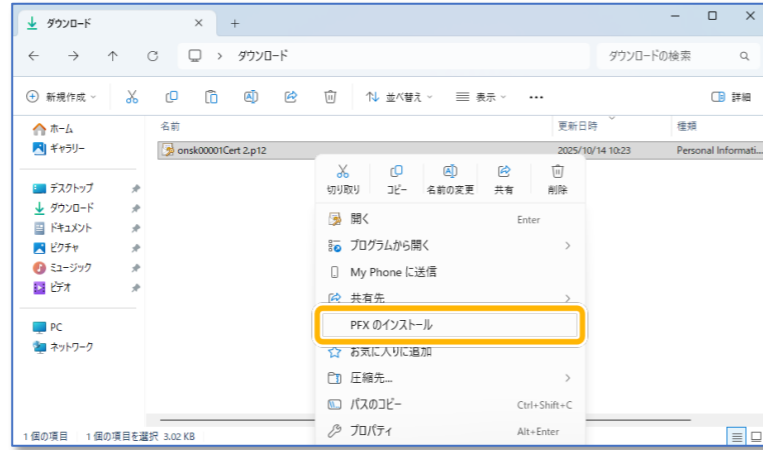
認証局の電子証明書をインストールします。電子証明書はお使いの端末が、医療情報閲覧用端末としてセットアップされていることを証明するために必要です。

01 セットアップ

電子証明書を医療情報閲覧用端末にセットアップします。

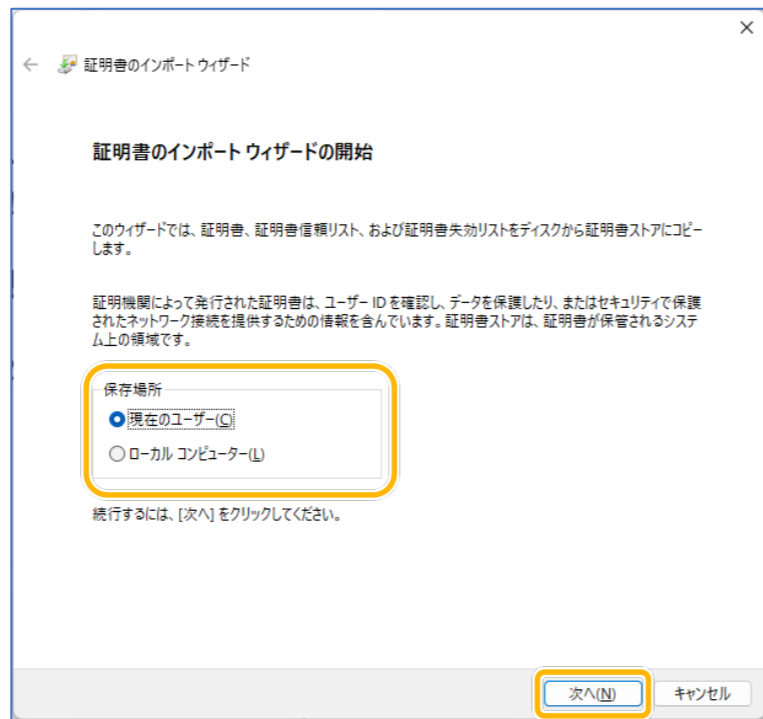
- 1 保存した電子証明書ファイルが保存されているフォルダーを開きます。（右図のファイルは例示です）

電子証明書ファイルを右クリックし、表示されたメニューから**PFXのインストール**をクリックします。



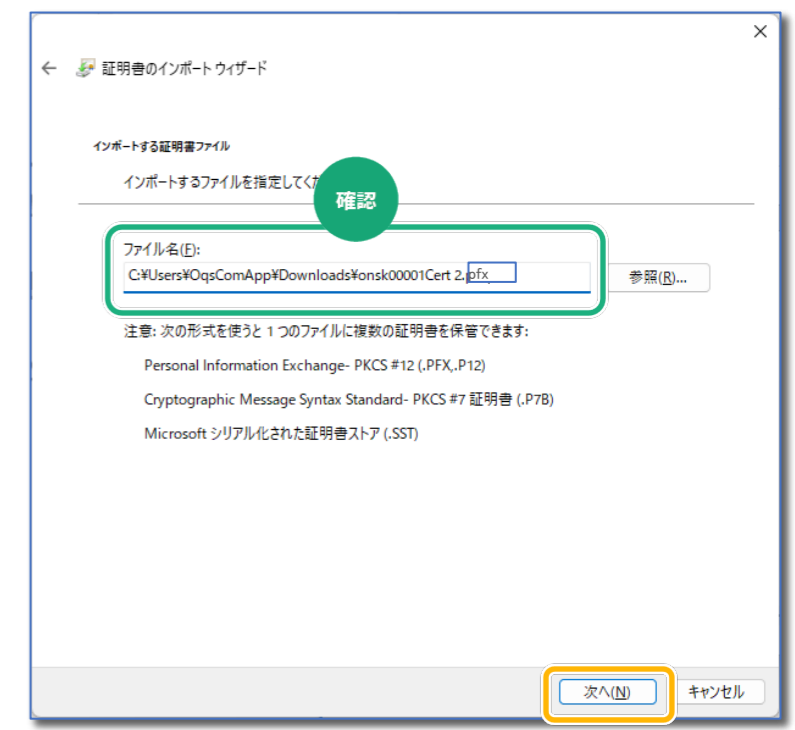
- 2 証明書のインポートウィザードが表示されます。

保存場所は**現在のユーザー**を選択し、**次へ**をクリックします。



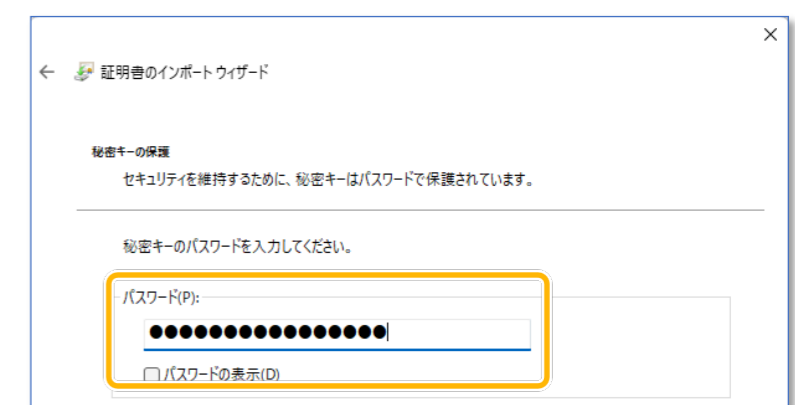
- 3 インポートする証明書ファイルが表示されます。

ファイル名に電子証明書のファイル名が表示されていることを確認し、**次へ**をクリックします。（右図のファイルは例示です）



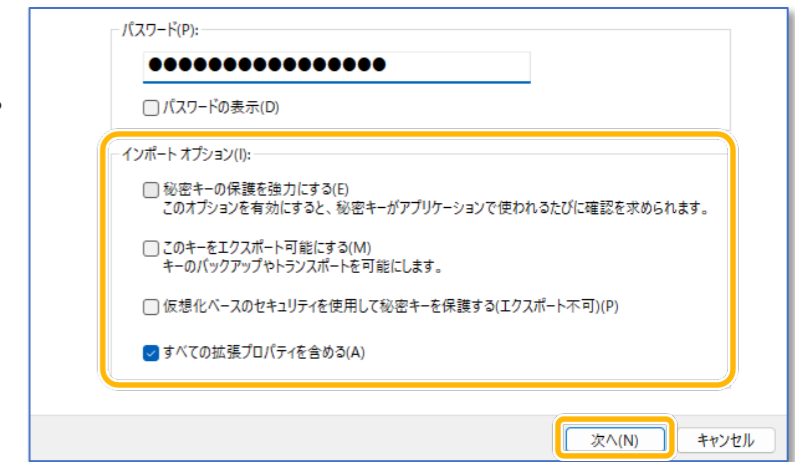
- 4 秘密キーの保護が表示されます。

パスワードに電子証明書ダウンロード時に設定した証明書パスワードを入力します。



- 5 **インポートオプション**について、以下の内容を設定します。設定後、**次へ**をクリックします。

- 秘密キーの保護を強力にする
：チェックをしない
- このキーをエクスポート可能にする
：チェックをしない
- すべての拡張プロパティを含める
：チェックをする

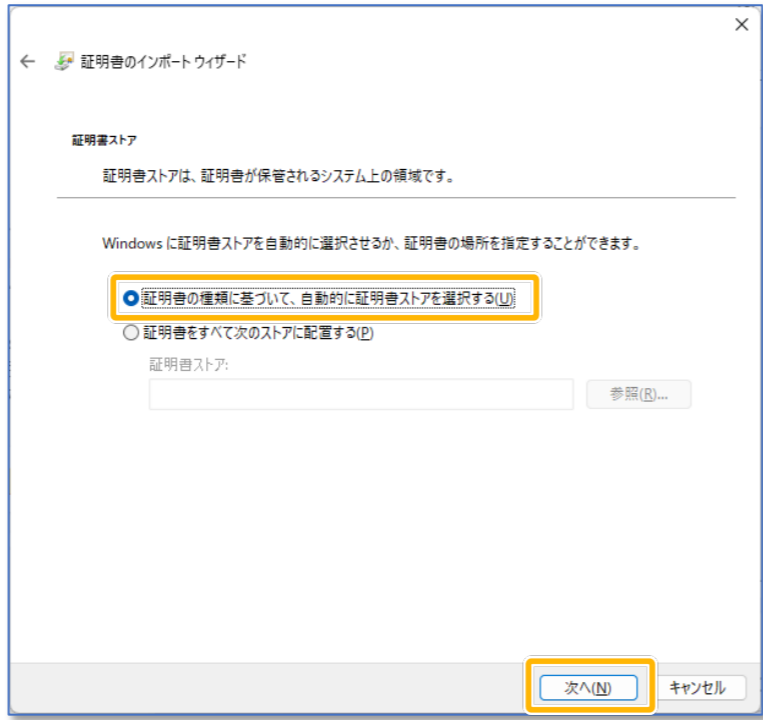


💡 こんなたときは！
秘密キーの保護を強力にするのチェックを外せない場合
 セキュリティを強化する設定がされているため、**オンライン請求ネットワーク関連システム共通認証局ユーザーマニュアルのPage 8を参照し、パスワードを設定します。**

4 認証局の電子証明書をインストールする (つづき)

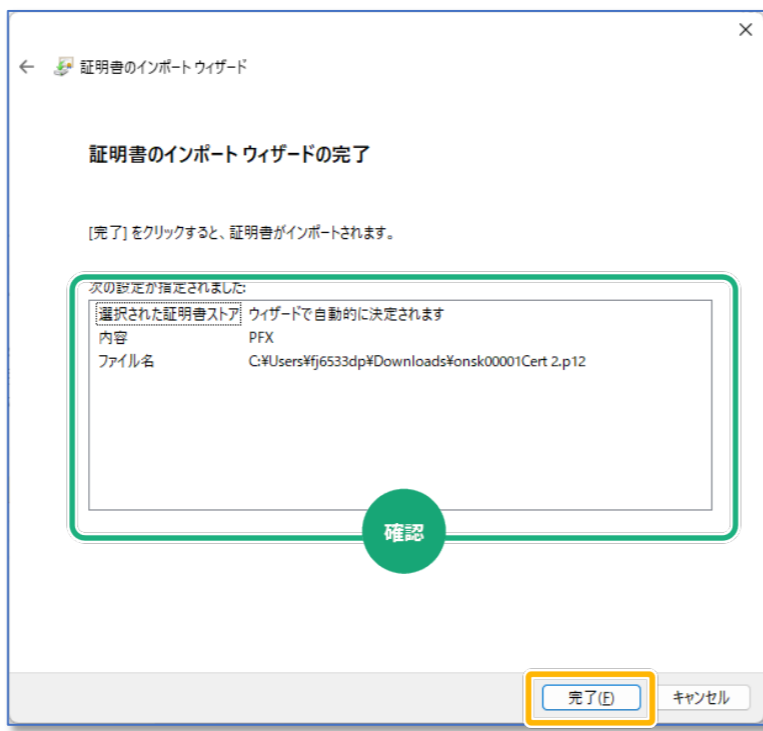
6 証明書ストアが表示されます。

証明書の種類に基づいて、自動的に証明書ストアを選択するを選択し、次へをクリックします。



7 証明書のインポートウィザードの完了が表示されます。

電子証明書のファイル名等を確認し、完了をクリックします。



💡 こんなときは！
新しい秘密交換キーをインポートしますが表示された場合

既存のオン請求端末などをセットアップした場合、右図の画面が表示されることがあります。この場合は、**オンライン請求ネットワーク関連システム共通認証局ユーザーマニュアルのPage 8の(7)～(9)を参照してください。**

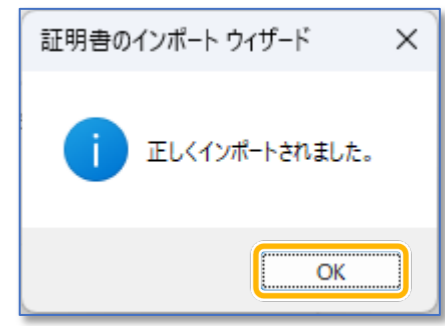
8 セキュリティ警告が表示されます。
 ※本画面が表示されず正しくインポートされました画面が表示された場合は、次に進んでください。

Windowsの信頼されたルート証明機関に証明書発行者(認証局)の証明書を登録するため、はいをクリックします。



注意
 いいえ をクリックした場合は、インストール中止となり、電子証明書がセットアップされません。電子証明書のインストールを再度実施する必要があります (P.16の①に戻り、再セットアップしてください。)

9 正しくインポートされましたが表示されます。
 OKをクリックします。



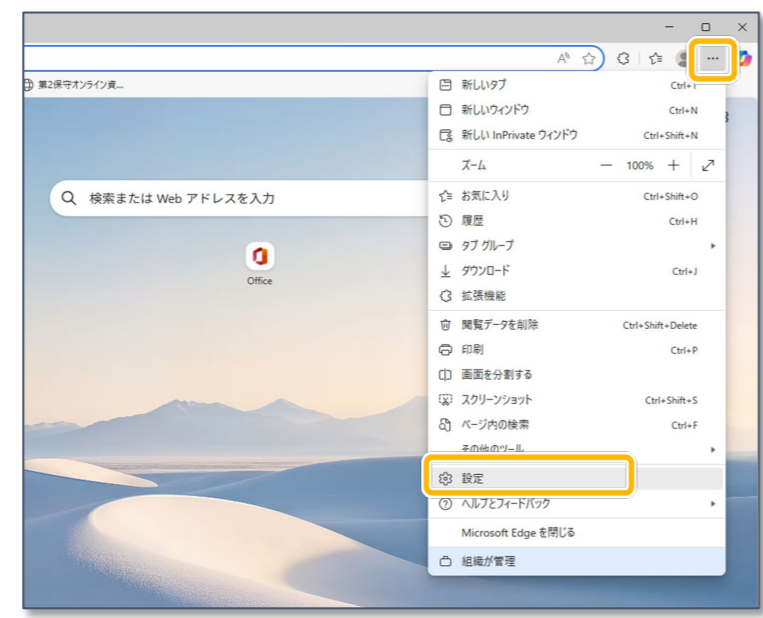
電子証明書のセットアップが完了しました。

4 認証局の電子証明書をインストールする (つづき)

02 セットアップ結果の確認

電子証明書が、ブラウザに正しく登録されたかを確認します。

1 Microsoft Edgeを起動し、
⋮ (設定など) から**設定**をクリックします。

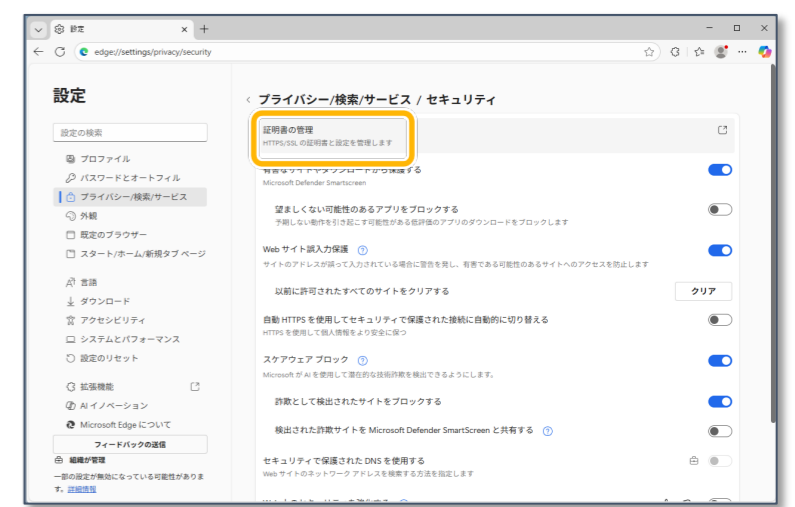


2 設定が表示されます。

プライバシー、検索、サービスから**セキュリティ**をクリックします。



3 セキュリティが表示されます。
証明書の管理をクリックします。



4 証明書マネージャーが表示されます。

ローカル証明書から
Windows からインポートされた証明書を管理をクリックします。

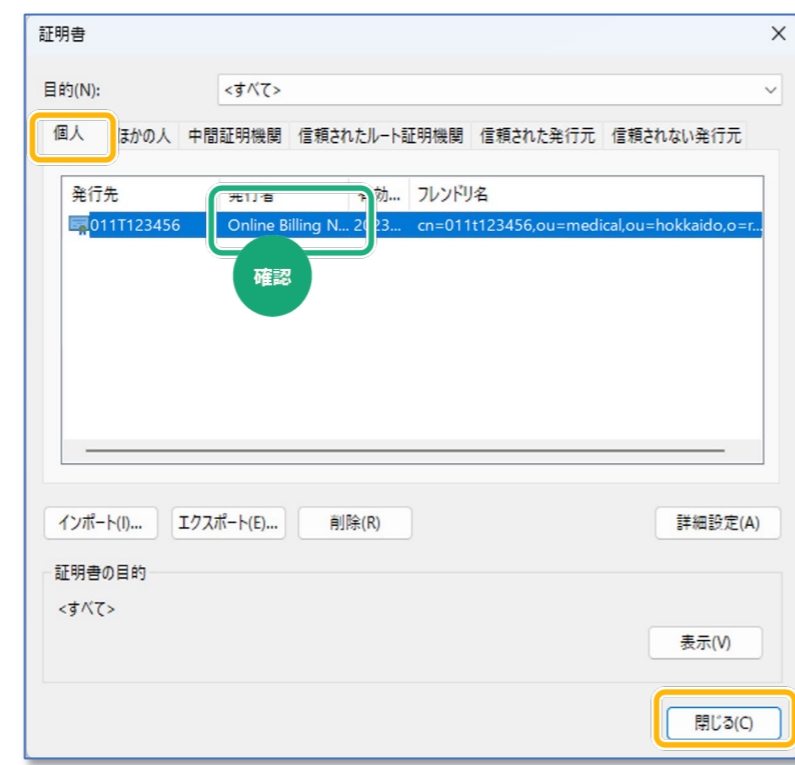


4 認証局の電子証明書をインストールする (つづき)

5 証明書が表示されます。

個人タブに、発行者が **Online Billing NW Common Root CA** と表示されている証明書が登録されていることを確認します。

確認後、**閉じる** をクリックします。



注意

MPKIクライアント (Cybertrust Managed PKI Client) のインストール

MPKIクライアントとは、電子証明書の有効期限が到来する前に更新通知を送信したり、電子証明書の更新時期が到来した際に、更新を簡単に行うことができる機能です。以下のマニュアルを参照し、インストールしてください。

【重要】電子証明書に関するお知らせ

更新が必要な電子証明書があります。このメッセージをクリックして証明書を更新してください。

Cybertrust Managed PKI Client

(参照先) オンライン請求ネットワーク関連システム共通認証局ユーザーマニュアル
2.2 MPKIクライアントインストール

電子証明書をセットアップできました。

続いて、オンライン資格確認等システムに接続できるかを確認します。

➡ 5 医療情報閲覧用 オンライン資格確認等システムに接続する に進みます

5 医療情報閲覧用 オンライン資格確認等システムに接続する

医療情報閲覧用のオンライン資格確認等システムに接続します。また、本番環境に接続するためのショートカットをデスクトップに作成します。

本番環境

<https://hweb.oqs.onshikaku.org/web/?mode=etsuran>

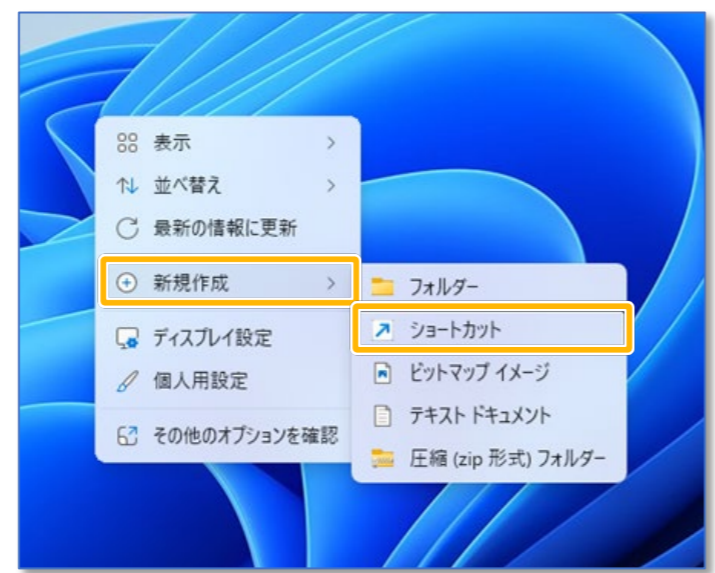
注意

IP-VPN接続方式（フレッツ光接続）でオンライン資格確認等システムに接続する医療機関等の方へ
 IP-VPNでオンライン資格確認等システムに接続する場合は、「回線認証接続」を行う必要があります。「回線認証接続」は以下を参照してください。
 （参照先）オンライン資格確認等システム接続ガイド（IP-VPN接続方式） 3-1回線認証接続

ショートカットを作成する

オンライン資格確認等システムに接続するためのショートカットを、デスクトップに作成します。

- 1 デスクトップで右クリックします。表示されるメニューから**新規作成**→**ショートカット**をクリックします。

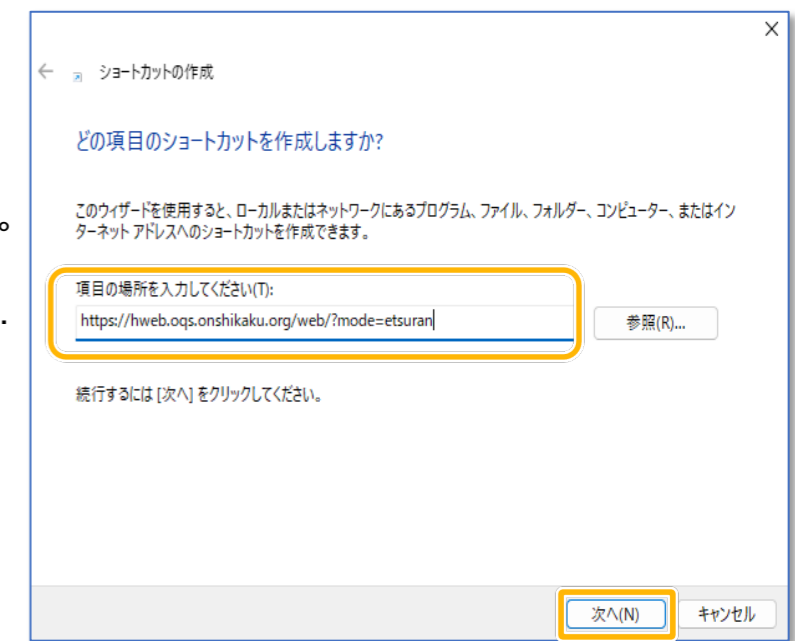


- 2 ショートカットの作成が表示されます。

項目の場所を入力してくださいに以下の内容を入力します。

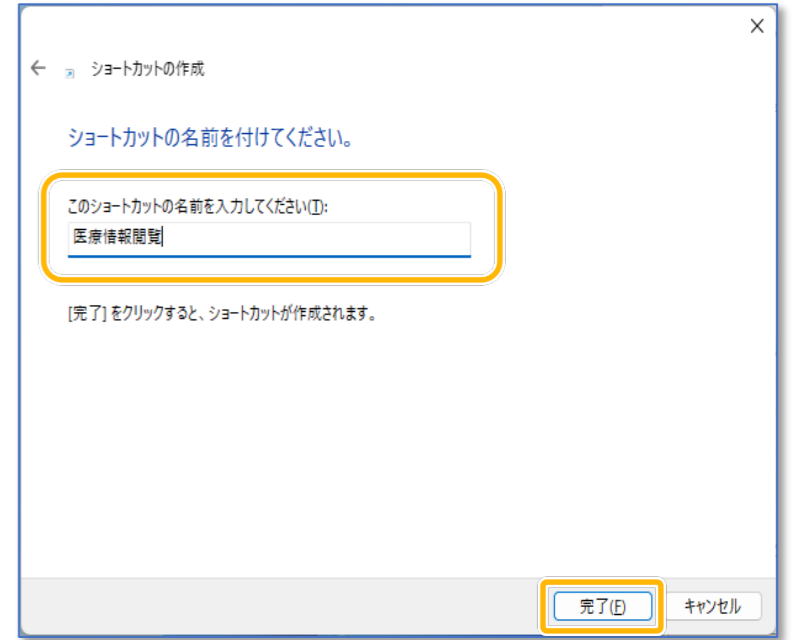
`https://hweb.oqs.onshikaku.org/web/?mode=etsuran`

入力後、**次へ**をクリックします。



- 3 このショートカットの名前を入力してくださいに、任意のショートカットの名前を入力します。
 ※右の図では**医療情報閲覧**としています

入力後、**完了**をクリックします。



- 4 デスクトップにショートカットが作成されました。



5 医療情報閲覧用 オンライン資格確認等システムに接続する (つづき)

医療情報閲覧用のオンライン資格確認等システムに接続

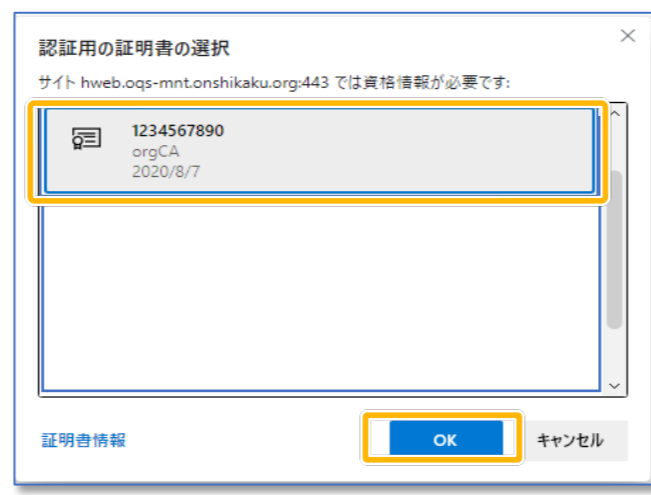
医療情報閲覧用のオンライン資格確認等システムにログインできることを確認します。

1 作成されたショートカットをダブルクリックします



2 認証用の証明書の選択が表示されます。

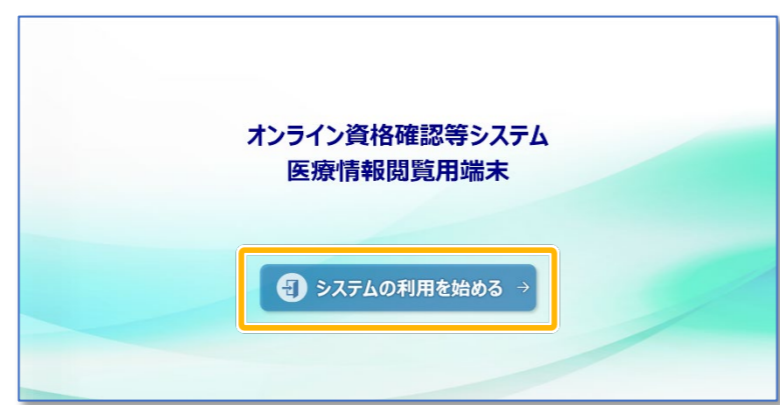
認証用の証明書をクリックし、OK をクリックします。



こんなときは！
認証用の証明書の選択画面が表示されない
証明書が正しくインストールされていることを確認してください。

3 システムの利用を始める→をクリックします。

こんなときは！
「医療情報閲覧用端末」が表示されない
URLに間違いがないか確認してください。



4 ログイン画面が表示されます。

接続が完了しました。



こんなときは！
ログイン画面が表示されない

ショートカット作成時に入力したURLに誤りがないか確認してください。

《確認方法》
ショートカットアイコンを右クリックし、表示されるメニューからプロパティを選択します。表示されるプロパティ画面のURLを確認してください。

オンライン資格確認等システムへの接続が完了しました。

➡ 6 患者情報を閲覧できるか確認する に進みます

! 1台の医療情報閲覧用端末を複数の職員で共有する場合で、職員ごとにWindowsのログインIDを切り替えて使用するとき (マルチアカウント) は、別紙トラブルシューティングをご確認ください。

➡ 別紙 **トラブルシューティング 補19**

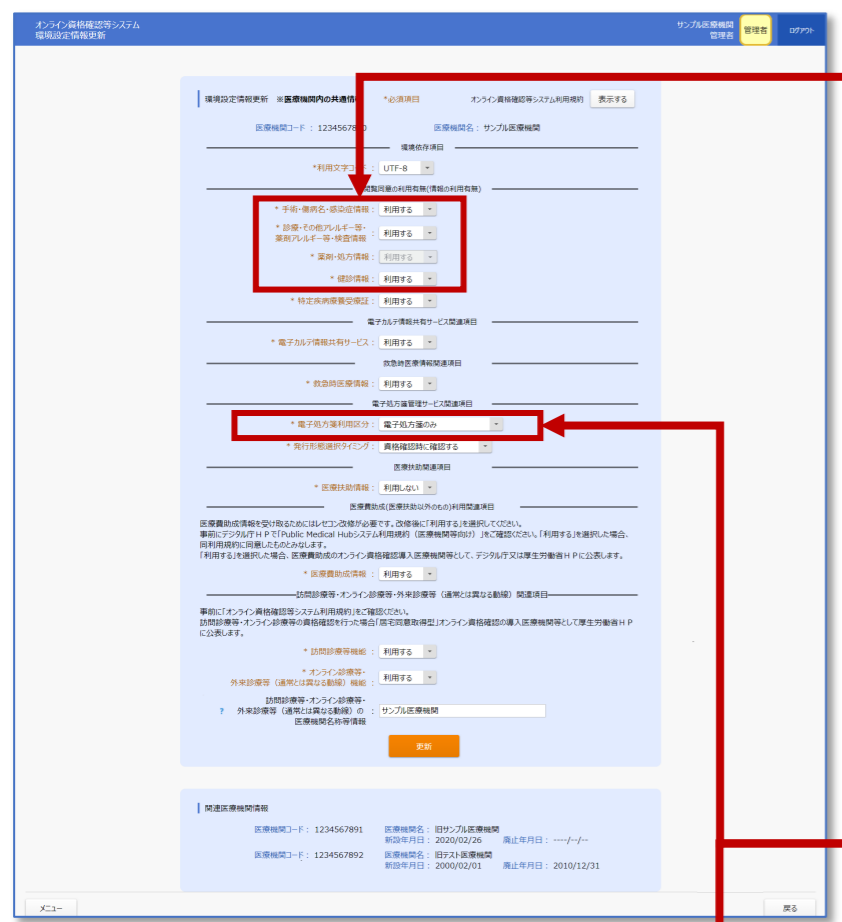
6 患者情報を閲覧できるか確認する

前提条件

各医療情報を閲覧する場合は、以下の設定を確認の上、操作してください。

■ 確認事項1

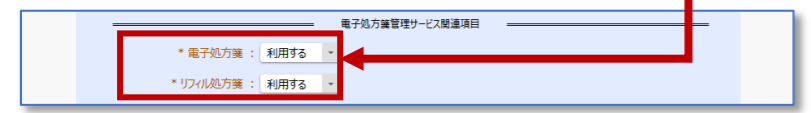
資格確認画面の環境設定情報更新メニューで、以下が設定されていることを確認してください。



利用する項目の設定内容が「**利用する**」になっていることを確認してください。
 「**利用しない**」になっている場合は、「**利用する**」を選択し、「**更新**」をクリックしてください。
 ※手術（傷病名・感染症）情報、診療（その他アレルギー等・薬剤アレルギー等・検査情報）情報の初期設定は「**利用しない**」が設定されています。
 ※臨床情報の利用有無は電子カルテ情報共有サービスの設定が「**利用する**」場合に表示されます

● 医科、歯科、訪看の場合
 電子処方箋利用区分の設定が「**利用しない**」以外になっていることを確認してください。
 ● 薬局の場合
 電子処方箋及びリフィル処方箋の設定が「**利用する**」になっていることを確認してください。
 「**利用しない**」になっている場合は、「**利用する**」を選択し、「**更新**」をクリックしてください。
 ※電子処方箋利用区分、電子処方箋、リフィル処方箋の初期設定は「**利用しない**」が設定されています。

<薬局の場合の画面>



■ 確認事項2

各医療情報を閲覧する前に、顔認証機器又は汎用カードリーダーを使用した資格確認を行い、各医療情報の提供に同意してください。

■ 確認事項3

以下のいずれかのユーザーをご利用ください。

- 医療情報閲覧者
- 管理者

医療情報閲覧用のオンライン資格確認等システムにログイン

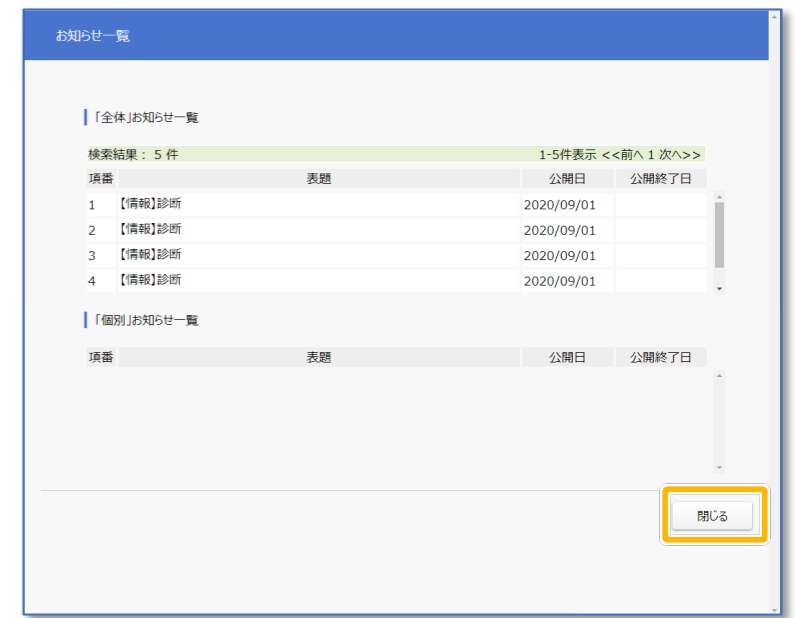
1 ログイン画面にて以下のいずれかのユーザーIDとパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。

- 医療情報閲覧者
- 管理者

エラーが表示される
 入力したID、パスワードに間違いがないか確認してください。



2 新しいお知らせが登録されている場合は、お知らせ一覧が表示されます。お知らせが登録されていない場合はメニューが表示されます（3に進みます。）



閉じるをクリックします。

3 メニューが表示され、オンライン資格確認等システムにログインできました。



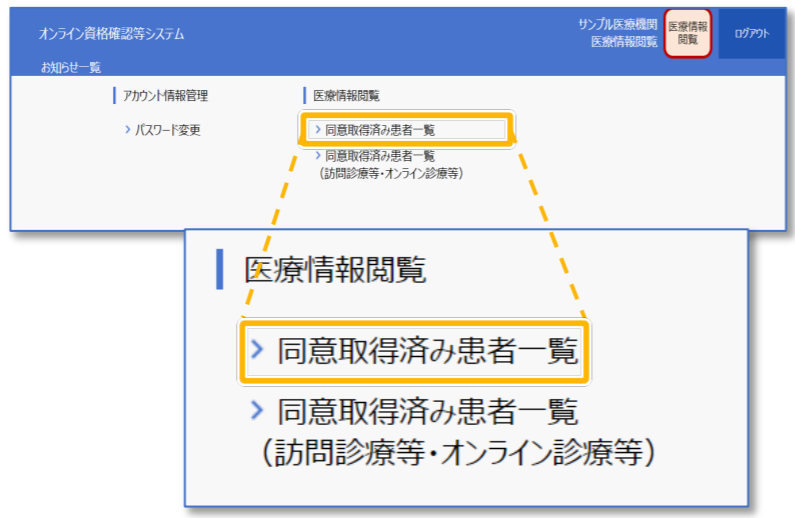
オンライン資格確認等システムへの接続が完了しました。

- 薬剤情報を閲覧する場合 **▶▶ P.22 薬剤情報を閲覧する** に進みます
- 手術・診療・薬剤情報を閲覧する場合 **▶▶ P.23 手術・診療・薬剤情報を閲覧する** に進みます
- 特定健診情報を閲覧する場合 **▶▶ P.24 特定健診情報を閲覧する** に進みます
- 臨床情報を閲覧する場合 **▶▶ P.25 臨床情報を閲覧する** に進みます

6 患者情報を閲覧できるか確認する (つづき)

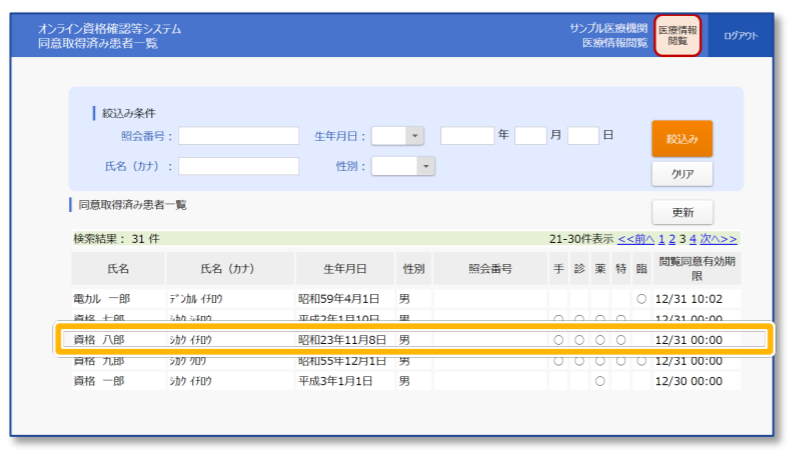
薬剤情報を閲覧する

1 医療情報閲覧の同意取得済み患者一覧をクリックします。



2 同意取得済み患者一覧が表示されます。

検索結果の一覧から、「薬」列に○がついた患者情報をクリックします。



3 患者情報詳細が表示されます。患者情報を確認します。



4 手術・診療・薬剤情報閲覧 (処方・調剤情報含む) にある診療年月 (自)、診療年月 (至) 又は直近何ヵ月分の薬剤情報を閲覧するかを選択します。選択後、薬剤閲覧をクリックします。



5 患者の薬剤情報一覧が表示されます。内容を確認します。

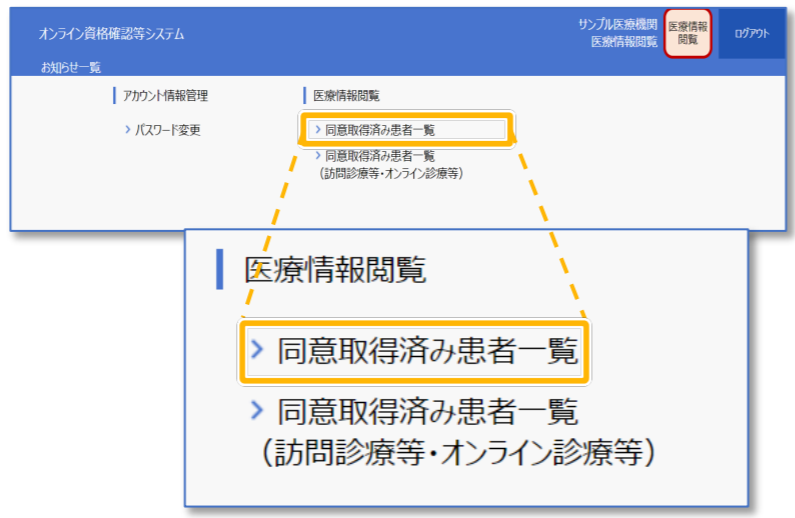


薬剤情報を閲覧できました。

6 患者情報を閲覧できるか確認する (つづき)

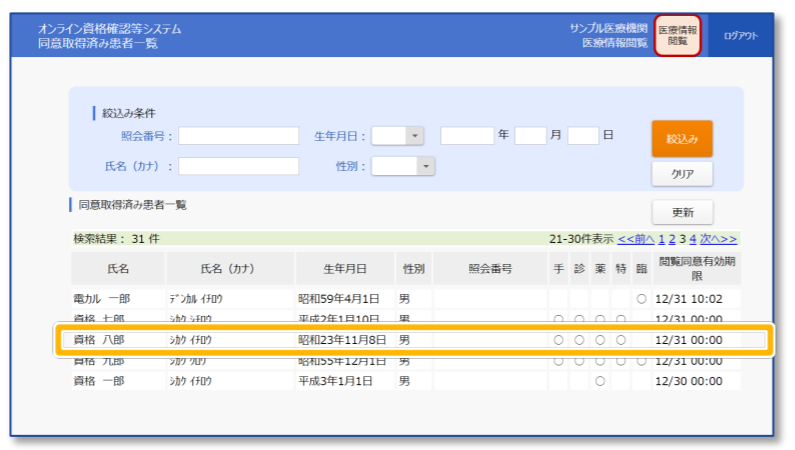
手術・診療・薬剤情報を閲覧する

1 医療情報閲覧の同意取得済み患者一覧をクリックします。



2 同意取得済み患者一覧が表示されます。

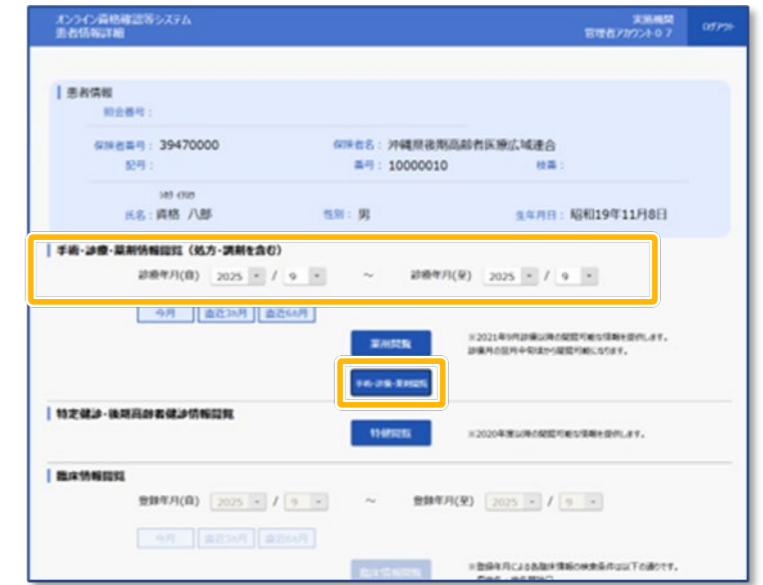
検索結果の一覧から、「手」及び「診」列に○がついた患者情報をクリックします。



3 患者情報詳細が表示されます。
患者情報を確認します。



4 手術・診療・薬剤情報閲覧 (処方・調剤情報含む) にある 診療年月 (自)、診療年月 (至) 又は直近何ヵ月分の 手術・診療・薬剤情報を閲覧するかを選択します。 選択後、手術・診療・薬剤閲覧をクリックします。



5 患者の診療/薬剤情報一覧が表示されます。
内容を確認します。

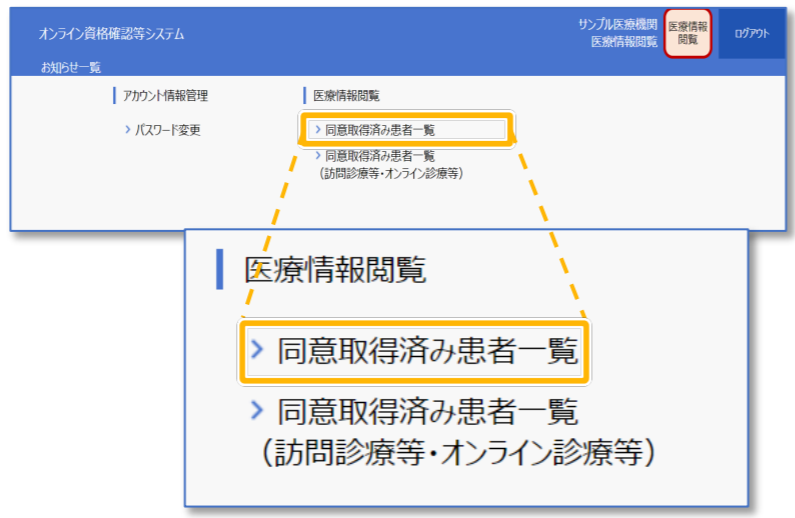


手術・診療・薬剤情報を閲覧できました。

6 患者情報を閲覧できるか確認する (つづき)

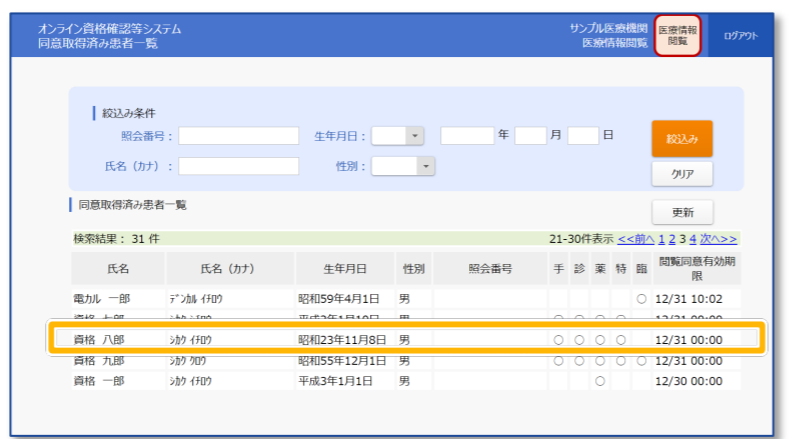
特定健診情報を閲覧する

1 医療情報閲覧の同意取得済み患者一覧をクリックします。



2 同意取得済み患者一覧が表示されます。

検索結果の一覧から、「特」列に○がついた患者情報をクリックします。



3 患者情報詳細が表示されます。患者情報を確認します。



4 特健閲覧をクリックします。



5 患者の特定健康診査受診結果が表示されます。内容を確認します。

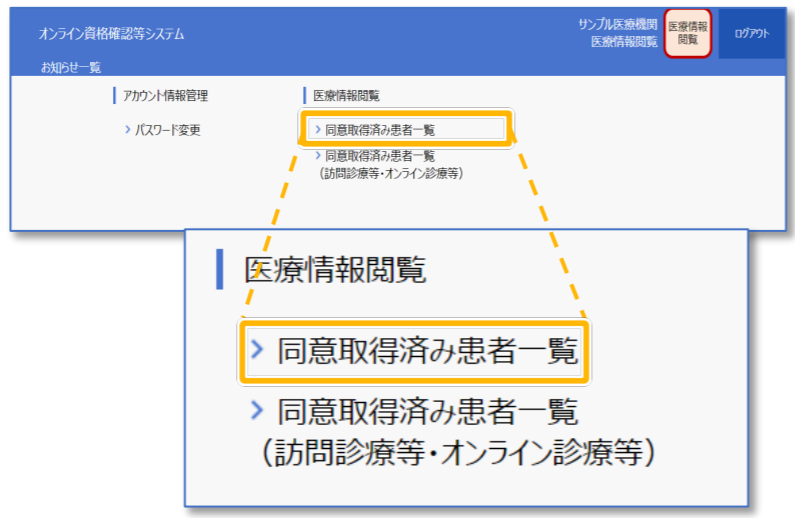


特定健診情報を閲覧できました。

6 患者情報を閲覧できるか確認する (つづき)

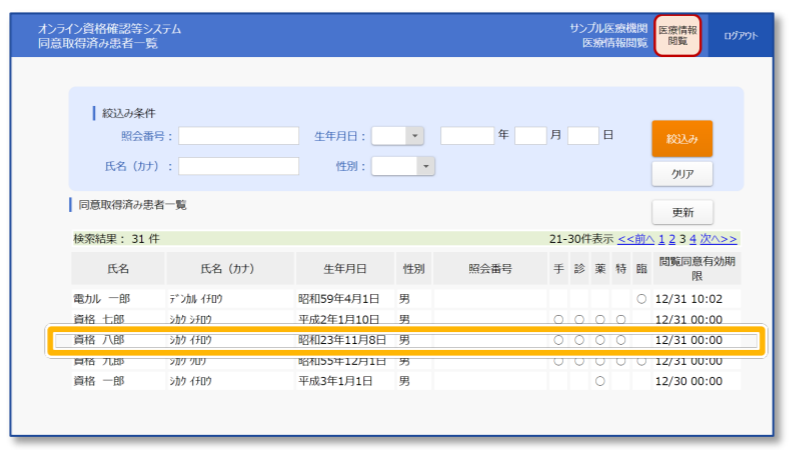
臨床情報を閲覧する

1 医療情報閲覧の同意取得済み患者一覧をクリックします。



2 同意取得済み患者一覧が表示されます。

検索結果の一覧から、「臨」列に○がついた患者情報をクリックします。

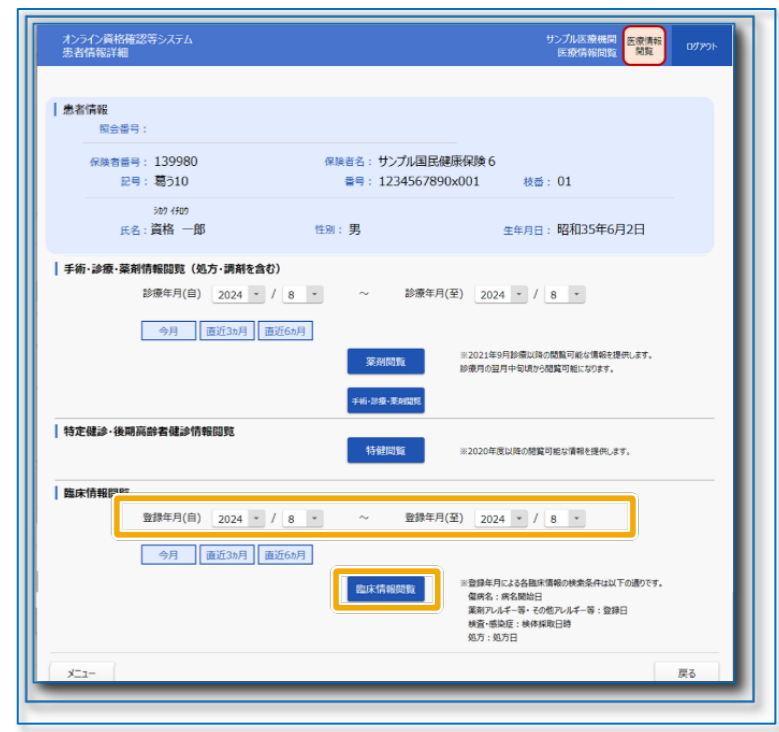


3 患者情報詳細が表示されます。

患者情報を確認します。



4 臨床情報閲覧にある登録年月(自)、登録年月(至)又は直近何ヵ月分の臨床情報を閲覧するかを選択します。選択後、臨床情報閲覧をクリックします



5 患者の臨床情報一覧が表示されます。

内容を確認します。



臨床情報を閲覧できました。